

平成元年度放送利用の大学公開講座の受講生 に対するアンケート調査結果(各大学共通分)

放送教育開発センター

浜 野 保 樹
館 昭

平成元年度の放送教育開発センター利用の大学公開講座は、北海道大学、東北大学、新潟大学、信州大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、香川大学（四国地区）、熊本大学、琉球大学、（琉球地区）、高岡短期大学の12大学を実施大学として行われた。講座数は前年同様、テレビ講座が12講座、ラジオ講座が10講座で、合計22講座が実施された。

各大学における実施講座の種類、科目名及びアンケートの回収率等については、次頁の集計表の通りである。講座全体のアンケートの回答者は4,036人で、回収率は44.3%であった。ちなみに前年度は4,307人、46.6%であり、回収率はここ数年ほぼ同じ数値になっている。

本年度は、これまでの調査項目である、「受講生の属性」（性別、年齢、学歴、職業）、「受講生のレディネス」（講座を知った媒体、受講動機、受講経験、視聴経験、予備知識、継続学習の経験）、「受講状況」（視聴回数、予習、視聴中のノート・メモ、録画、継続的に視聴しなかった理由、録画・録音の理由、スクリーングへの参加状況）、「受講生の反応」（今後の学習希望、満足度、理解度、望ましい学習形態、希望の講座タイプ）に、他大学の放送講座受講希望の新規項目を加えた。

ここではアンケートの各質問項目ごとの基礎集計・分析を行い、北海道大学、東北大学、新潟大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、愛媛大学（四国地区）、熊本大学、琉球大学（沖縄地区）の11大学分を大学分として一括して扱い、高岡短期大学分を短期大学分として別個に集計、分析している。

平成元年度放送利用の公開講座共通アンケート集計表

大 学 名	媒体	番 組 名		コード番号	アンケート数	受講者	回収率
北 海 道 大 学	T	創造性：文化を築き科学を進める力		011010	135	357	37.8
	R	口承文芸の世界		012020	172	441	39.0
東 北 大 学	T	みちのくの建築―風土と景観―		021030	132	181	72.9
	R	老年期		022040	136	169	80.4
新 潟 大 学	T	雪国の住居と都市―風土の中で住環境を考える―		031050	170	346	49.1
	R	麗しき話一人の歩みとともに―		032060	133	251	52.9
金 沢 大 学	T	日本海域の自然―日本海域のロマン―		041070	33	44	75.0
	R	石川の文学を読む―昭和をふりかえって―		042080	41	57	71.9
信 州 大 学	T	信濃の民俗音楽		051090	346	1705	20.2
	R	市民生活と法―急激な社会変動の諸例を通じて―		052100	135	365	36.9
名 古 屋 大 学	T	時間―人間とのかかわり―		061110	93	192	48.4
	R	内と外―日本文化のアイデンティティを求めて―		062120	67	150	44.6
大 阪 大 学	T	かしこい材料とシステム―産業科学の新しい芽―		071130	321	759	42.2
	R	国際化時代における法と政治		072140	180	389	46.2
広 島 大 学	T	身近なバイオテクノロジー		081150	122	171	71.3
	R	歯の健康		082160	351	514	68.2
香 川 大 学 (四国地区)	T	四国の交通と経済―21世紀へのかけ橋―	愛媛	091171	109	150	72.6
			徳島	091172	89	158	56.3
			香川	091173	561	953	58.8
			高知	091174	49	136	36.0
		小 計			808	1397	57.8
熊 本 大 学	T	色の科学と文化		101180	155	489	31.6
	R	近世の熊本		102190	285	636	44.8
琉 球 大 学	T	地球からの発想―文化・社会・自然・生活環境から地域を読む―		111200	47	128	36.7
	R	思春期の心とからだ―沖縄の医療と保健その2―		111210	53	138	38.4
高岡短期大学	T	身近なコンピュータ		121220	121	226	53.5
総 計					4036	9105	44.3

第1節 受講生の属性

1. 受講生の性別（問1）

アンケート回答者全体の性別比率は、男性62.7%、女性37.3%と男性のほうがかなり高くなっている。これをメディア別にみると、テレビ講座全体で男性が72.9%、女性が27.1%であり、ラジオ講座全体では男性46.9%、女性53.1%である。

このようにテレビ講座とラジオ講座の間には差があり、テレビ講座はラジオ講座よりも男性の受講生をはるかに多く集めている。しかしこの現象はメディアの特性から直接に起こることではなく、男性の受講生を多く集める理工系あるいは経済をテーマとした講座が、テレビ講座として多く取り上げられているためだと考えられる。

受講生の性別（問1）

大学：講座名	件数	男	女
合計	3480	62.7	37.3
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	135	65.2	34.8
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	172	43.0	57.0
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	68.2	31.8
東北大学：孝年画 (R)	133	55.6	44.4
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	169	65.1	34.9
新潟大学：麗しき酒 (R)	132	59.8	40.2
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	90.9	9.1
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	41	34.1	65.9
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	343	47.5	52.5
信州大学：市民生活と法 (R)	135	50.4	49.6
名古屋大学：時間・人間とのかわり (T)	93	66.7	33.3
名古屋大学：内と外 (R)	66	71.2	28.8
大阪大学：かじこ材料とシステム (T)	321	82.6	17.4
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	73.9	26.1
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	79.5	20.5
広島大学：書の数 (R)	351	17.9	82.1
香川大学：四国の交通と経済 (T)	805	89.3	10.7
熊本大学：色の科学と文化 (T)	151	43.7	56.3
熊本大学：近世の熊本 (R)	266	58.3	41.7
琉球大学：地域からの発展 (T)	47	51.1	48.9
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	18.9	81.1
(T) テレビ講座：全体	2351	72.9	27.1
(R) ラジオ講座：全体	1529	46.9	53.1

2. 受験生の年齢 (問2)

講座全体としては、どの年齢段階にも受講生が分布している。ただ、「70歳以上」を除くと、年齢段階ごとに受講生数が増える傾向がみられる。

ただし、広島大学の「歯の健康」(R) では、「20歳未満」33.4%、「20～29歳」42.3%と受講生が比較的若い層に集中している。

受験生の年齢 (問2)

大学：講座名	件数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上
合 計	3196	3.7	11.6	13.2	21.5	22.2	20.1	7.8
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	135	0.7	4.4	11.9	19.3	25.2	30.4	8.1
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	172	0.6	5.8	14.5	27.3	17.4	27.9	6.4
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	0.8	1.5	10.6	18.9	18.2	33.3	16.7
東北大学：老年期 (R)	135	0.7	2.2	6.7	14.1	20.7	34.8	20.7
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	170	-	8.2	14.7	18.2	25.5	24.1	8.2
新潟大学：関しき酒 (R)	133	-	5.3	17.3	22.6	26.3	24.1	4.5
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	-	-	18.2	24.2	9.1	33.3	15.2
金沢大学：石川の文学を読む (R)	41	-	-	9.8	35.6	24.4	19.5	9.8
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	345	2.6	26.1	7.5	15.1	21.7	18.0	9.0
信州大学：市民生活と法 (R)	135	5.2	11.9	16.3	26.7	21.5	18.5	-
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	-	4.3	12.9	20.4	29.0	20.4	12.9
名古屋大学：内と外 (R)	66	-	-	9.1	28.8	24.2	24.2	13.6
大阪大学：かっこいい材料とシステム (T)	321	0.9	5.3	17.4	20.6	25.5	22.4	7.8
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	1.1	6.1	17.2	15.7	24.4	22.8	11.7
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	0.8	8.3	15.8	21.7	20.0	23.3	10.0
広島大学：歯の健康 (R)	350	33.4	42.3	6.3	4.6	8.0	3.1	2.3
香川大学：四国の交通と経済 (T)	807	0.1	10.9	17.8	35.6	27.5	6.9	1.1
熊本大学：島の科学と文化 (T)	153	-	2.0	9.2	15.7	20.3	41.2	11.8
熊本大学：近世の熊本 (R)	276	-	2.5	6.9	9.4	18.8	40.9	21.4
琉球大学：地域からの経験 (T)	46	-	15.2	21.7	23.9	32.6	6.5	-
琉球大学：思慕の心とからだ (R)	53	-	13.2	20.8	47.2	17.0	1.9	-
(T) テレビ講座：全体	2355	0.7	10.2	14.5	24.4	24.7	18.7	6.8
(R) ラジオ講座：全体	1541	8.3	13.6	11.2	17.1	18.2	22.2	9.5

3. 受講生の学歴（問3）

講座全体としては、「大学・旧制高校・旧制高専卒」が35.4%で最も多く、「新制高校、旧制中学・旧制高女」が32.2%でこれについている。大阪大学の「かしこい材料とシステム」(T)は「大学・旧制高校・旧制高専卒」が60.0%、「大学院卒」5.6%と、高学歴者の受講が目立っている。

また、今年度は広島大学の「歯の健康」(T)が「専修学校・各種学校在学中」51.7%、「大学在学中」13.7%と、高等教育機関に在学中の受講生の比率が高いことが特徴である。

受講生の学歴（問3）

大学：講座名	件数	小学校・新制中学	旧制高小卒	新制高小卒	旧制高女卒	短大・新制高専卒	大学・旧制高校	旧制専門学校卒	大学院卒	専修学校	各種学校卒	短大・高専在学中	大学在学中	大学院在学中	専修学校	各種学校在学中	高校在学中	その他
合計	3481	5.3	32.5	10.1	35.4	1.5	3.7	0.7	4.5	0.7	4.7	0.2	1.2					
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	134	9.7	43.3	11.9	27.6	-	5.0	0.7	-	-	-	-	-	0.7				
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	172	6.4	41.9	18.0	23.8	-	5.8	1.2	1.2	0.6	-	-	1.2	1.2				
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	2.3	36.4	11.4	40.2	1.5	2.3	1.5	1.5	-	-	0.8	2.3	2.3				
東北大学：老年期 (R)	136	5.1	41.9	15.4	27.2	-	5.9	0.7	0.7	-	-	0.7	2.2	2.2				
新潟大学：賢国の住居と都市 (T)	170	10.0	40.0	11.2	29.4	1.2	6.5	-	0.6	-	-	-	1.2	1.2				
新潟大学：麗しき酒 (R)	133	13.5	41.4	15.8	24.1	1.5	3.0	-	-	-	-	-	0.8	0.8				
金沢大学：日本海嶺の自然 (T)	33	3.0	27.3	3.0	60.6	3.0	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0				
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	41	9.8	46.3	19.5	19.5	2.4	-	-	-	-	-	-	2.4	2.4				
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	341	8.5	25.5	10.3	28.4	1.8	4.1	-	19.9	0.3	-	0.3	0.9	0.9				
信州大学：市民生活と法 (R)	133	3.0	41.4	12.8	23.3	1.5	3.8	4.5	9.0	-	-	-	0.8	0.8				
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	7.5	36.6	16.1	35.5	1.1	-	1.1	1.1	-	-	-	1.1	1.1				
名古屋大学：内と外 (R)	66	4.5	31.8	12.1	40.9	3.0	-	1.5	3.0	-	-	-	3.0	3.0				
大阪大学：かしこい材料とシステム (T)	320	0.9	23.4	5.3	60.0	5.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3	1.6	1.6				
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	2.2	26.7	12.2	50.0	1.1	1.7	-	2.8	0.6	-	-	2.8	2.8				
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	3.3	32.8	9.8	41.8	4.1	4.1	-	1.6	0.8	-	0.8	0.8	0.8				
広島大学：歯の健康 (R)	350	1.1	7.1	2.9	7.1	0.9	13.1	2.0	13.7	-	51.7	-	0.3	0.3				
香川大学：四国の交通と経済 (T)	806	1.7	37.2	7.7	47.3	1.1	1.1	0.4	2.9	-	0.1	0.1	0.4	0.4				
熊本大学：色の科学と文化 (T)	154	11.7	42.2	10.4	27.9	1.9	2.6	0.6	0.6	0.6	-	-	1.3	1.3				
熊本大学：近世の熊本 (R)	275	14.9	36.7	10.9	32.4	-	1.8	0.4	1.1	-	-	-	1.8	1.8				
東海大学：地域からの発想 (T)	47	2.1	25.5	14.9	42.6	-	8.5	-	4.3	-	-	-	2.1	2.1				
東海大学：思春期の心とからだ (R)	53	-	26.4	18.9	39.6	-	7.5	1.9	1.9	-	1.9	-	1.9	1.9				
(T) テレビ講座：全体	2352	4.7	33.8	9.1	41.5	2.0	2.6	0.4	4.3	0.2	0.1	0.2	1.0	1.0				
(R) ラジオ講座：全体	1539	6.2	30.3	11.6	26.1	0.8	5.5	1.2	4.8	0.1	11.8	0.1	1.4	1.4				

4. 受講生の職業（問4）

「事務・技術系」の比率が33.3%で最も高く、第2位の「無職」15.8%、第3位の「主婦・家事手伝い」14.9%を大きく引き離している。香川大学の「四国の交通と経済」（T）では、「事務・技術系」の比率が61.6%と極めて高い。

学生の比率が広島大学の「歯の健康」（T）で72.3%と高いが、信州大学の「信濃の民俗音楽」（T）、市民生活と法（R）でも、それぞれ23.2%、14.8%と、比較的高い。

「教育・研究職」の比率は、全体では6.9%と高くないが、琉球大学の「思春期の心とからだ」（R）では43.4%にのぼっており、注目される。

受講生の職業（問4）

大学：講座名	件数	農林漁業	事務・技術系	労働系	管理職・自由業	教育・研究職	中小企業経営者	主婦・家事手伝い	学生	無職	その他
合 計	3419	3.2	33.3	1.1	7.7	6.9	3.3	14.9	13.3	15.8	3.2
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力（T）	135	2.2	26.7	3.7	1.5	5.2	2.2	20.7	1.5	28.1	8.1
北海道大学：口承文芸の世界（R）	172	1.7	22.1	2.9	2.9	7.0	0.6	30.2	2.3	22.7	7.6
東北大学：みちのくの産業（T）	132	3.8	33.3	0.8	4.5	5.3	6.1	16.7	0.8	25.0	3.9
東北大学：老年期（R）	136	2.9	23.5	0.7	3.7	5.9	5.1	19.9	-	34.6	3.7
新潟大学：雪国の住居と都市（T）	166	1.2	32.5	2.4	2.4	9.6	5.4	22.3	0.6	18.7	4.8
新潟大学：酒の文化（R）	131	2.3	33.6	3.1	2.3	6.9	5.3	22.1	-	19.1	5.3
金沢大学：日本海地域の自然（T）	33	9.1	30.3	-	3.0	21.2	-	3.0	-	30.3	3.0
金沢大学：石川の文学を讀む（R）	41	4.9	24.4	-	9.8	4.9	2.4	39.0	-	9.8	4.9
信州大学：信濃の民俗音楽（T）	341	8.2	17.6	2.9	2.9	10.6	1.5	20.2	23.2	10.6	2.3
信州大学：市民生活と法（R）	135	5.2	34.1	2.2	8.1	3.7	4.4	20.0	14.8	4.4	3.0
名古屋大学：時間・人間とのかかわり（T）	93	-	32.3	2.2	5.4	4.3	9.7	18.3	-	24.7	3.2
名古屋大学：内と外（R）	66	1.5	31.8	1.5	4.5	9.1	4.5	18.2	-	27.3	1.5
大阪大学：かしの材料とシステム（T）	319	-	41.1	0.3	10.7	14.1	4.4	8.2	2.2	15.7	3.4
大阪大学：国際化時代における法と政治（R）	180	-	38.3	0.6	13.3	3.9	5.6	12.8	2.2	20.0	3.3
広島大学：身近なバイオテクノロジー（T）	121	5.0	35.4	0.8	4.1	11.6	5.0	8.3	2.5	23.1	3.3
広島大学：歯の健康（R）	346	0.6	9.0	0.3	0.9	4.0	1.4	6.1	72.3	2.6	2.9
香川大学：四国の交通と経済（T）	802	1.7	61.6	0.4	18.3	2.7	4.0	2.5	2.9	3.9	2.0
熊本大学：島の科学と文化（T）	154	10.4	10.4	-	1.9	5.8	3.2	35.4	1.3	29.2	1.3
熊本大学：近世の熊本（R）	277	9.7	17.0	-	6.1	3.2	3.2	23.5	0.4	36.5	1.4
琉球大学：地域からの発展（T）	46	2.2	50.0	-	8.7	8.7	8.7	15.2	2.2	2.2	2.2
琉球大学：思春期の心とからだ（R）	53	-	22.6	-	1.9	43.4	3.8	22.6	1.9	1.9	1.9
(T) テレビ講座：全体	2342	3.3	40.2	1.2	9.4	7.3	4.1	12.5	5.1	13.9	3.0
(R) ラジオ講座：全体	1537	3.0	22.8	1.0	4.9	6.2	3.3	18.5	18.2	18.6	3.4

第2節 受講生のレディネス

1. 講座を知った媒体 (問5)

放送公開講座を知った媒体としては、「大学からの案内」の比率が51.7%で最も高い。これは、テレビ講座、ラジオ講座に共通の傾向である。

次に比率の高いのは「市町村の広報」の22.2%で、以下「テレビ」19.6%、「人の話」17.2%、「新聞」14.8%の順になっている。

ラジオ講座であっても、講座を知った媒体は「ラジオ」6.7%に対し「テレビ」12.4%と、テレビで知った受講生の比率の方が高い。

講座を知った媒体 (問5)

大学：講座名	件数	テレビ	ラジオ	新聞	市町村の広報	大学からの案内	人の話	その他
合計	3325	19.6	4.1	14.8	22.2	51.7	17.2	11.0
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	135	5.9	2.2	11.1	25.2	70.4	3.0	6.7
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	172	5.2	4.1	10.5	30.8	61.0	2.3	6.4
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	25.8	3.8	17.4	18.9	72.7	7.6	3.8
東北大学：考年号 (R)	136	22.8	7.4	21.3	17.6	74.3	7.4	1.5
新潟大学：軍国の住居と都市 (T)	165	53.3	2.4	17.0	26.7	47.3	10.9	4.8
新潟大学：園しき酒 (R)	133	30.1	9.8	12.0	35.3	56.4	10.5	3.0
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	21.2	3.0	21.2	3.0	78.8	12.1	-
金沢大学：石川の文学を読む (R)	41	17.1	17.1	31.7	12.2	53.7	12.2	4.9
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	343	32.1	5.2	12.8	15.0	44.3	35.0	10.2
信州大学：市民生活と法 (R)	91	5.5	23.1	31.9	12.1	20.9	33.0	5.5
名古屋大学：時間-人間-のかかわり (T)	93	16.1	2.2	25.8	20.4	62.4	8.6	7.5
名古屋大学：内と外 (R)	66	4.5	1.5	36.4	24.2	66.7	3.0	6.1
大阪大学：かじこ材料とシステム (T)	321	6.5	-	14.0	13.4	72.3	12.1	9.0
大阪大学：国威時代における法と政治 (R)	180	1.7	1.7	15.0	23.3	72.2	4.4	11.7
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	15.6	1.6	12.3	33.6	69.7	6.6	1.6
広島大学：書の内容 (R)	337	4.2	2.4	3.0	6.9	53.1	44.5	16.0
香川大学：西国の交通と経済 (T)	794	23.8	1.6	17.3	18.1	34.8	18.8	24.3
熊本大学：島の科学と文化 (T)	154	29.9	2.6	5.2	50.6	41.6	7.8	6.5
熊本大学：近世の熊本 (R)	277	20.2	5.8	7.9	49.1	40.8	11.9	5.4
東洋大学：地域からの発展 (T)	47	57.4	10.6	31.9	8.5	31.9	27.7	2.1
東洋大学：図書館の心から (R)	53	30.2	26.4	34.0	9.4	22.6	28.3	5.7
(T) テレビ講座：全体	2339	24.1	2.4	15.4	20.9	50.3	16.5	12.9
(R) ラジオ講座：全体	1486	12.4	6.7	13.9	24.4	53.8	18.2	8.1

2. 受講の動機 (問6)

全体では、「テーマに関心があった」の比率が44.4%で最も高く、ついで「教養を高めるため」が36.3%と高い。

個々の講座別にみても、概ねこの2つの動機が1位か2位を占めているが、香川大学の「四国の交通と経済」(T)では、「仕事に役立つと思った」の比率が48.9%で、「テーマに関心があった」の46.9%をわずかながら凌いでいる。

受講動機 (問6)

大学・講座名	件数	授業を受けてみたい 地元大学の教授の	家で学習できる	教養を高めるため	テーマに関心があった	仕事に役立つと 思った	日常生活に 役立つと思った	余暇を有効に 利用したかった	面白かったから 放送利用の大学公開	その他
合計	3924	13.5	21.3	36.3	44.4	20.1	7.5	9.9	13.7	3.9
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	134	19.4	23.1	51.5	28.4	4.5	1.5	14.9	23.9	1.5
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	170	15.3	30.0	30.0	42.9	1.2	1.2	13.5	27.1	2.9
東北大学：みちのくの産業 (T)	132	18.9	14.4	30.3	57.6	12.1	4.5	12.1	28.0	1.5
東北大学：若年期 (R)	136	14.7	23.5	27.2	55.1	6.6	21.3	6.6	25.0	3.7
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	168	16.7	26.8	17.9	47.0	18.5	15.5	7.7	29.8	2.4
新潟大学：酒と酒 (R)	133	12.8	18.8	29.3	49.6	4.5	6.8	14.3	34.6	3.0
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	24.2	18.2	27.3	72.7	9.1	3.0	12.1	15.2	-
金沢大学：石川の文学を読む (R)	41	14.6	26.8	31.7	51.0	4.9	-	12.2	12.2	7.3
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	343	27.4	21.0	30.3	49.9	9.6	2.0	11.4	3.5	7.3
信州大学：市民生活と法 (R)	97	8.2	23.7	36.1	42.3	8.2	24.7	7.2	9.3	3.1
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	15.1	25.8	47.3	37.6	6.5	6.5	12.9	33.3	-
名古屋大学：内と外 (R)	66	22.7	24.2	47.0	36.4	4.5	3.0	10.6	33.3	3.0
大阪大学：かっこいい材料とシステム (T)	320	7.5	25.3	50.3	41.6	25.6	2.2	6.9	25.6	2.2
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	10.6	30.6	55.6	36.7	6.7	3.9	16.7	18.9	2.8
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	4.9	21.3	43.4	53.3	9.0	13.1	8.2	23.0	1.6
広島大学：書と健康 (R)	323	5.6	17.0	28.2	34.1	29.7	11.8	5.3	4.0	13.6
香川大学：四国の交通と経済 (T)	803	9.5	15.6	32.5	46.3	48.9	6.0	4.7	4.5	4.0
熊本大学：色の科学と文化 (T)	152	16.4	27.0	44.7	30.9	6.6	21.1	13.2	15.8	-
熊本大学：近世の熊本 (R)	278	18.0	19.8	41.7	42.8	3.6	5.4	21.6	17.6	0.4
琉球大学：地域からの発展 (T)	47	14.9	27.7	51.1	46.8	17.0	6.4	10.6	6.4	2.1
東洋大学：思春期の心とからだ (R)	53	7.5	34.0	22.6	69.8	39.6	13.2	1.9	3.8	1.9
(T) テレビ講座：全体	2347	14.2	20.6	36.8	45.2	25.5	6.6	8.5	14.5	3.2
(R) ラジオ講座：全体	1477	12.4	23.1	35.5	43.1	11.4	9.0	12.1	17.6	4.9

3. 受講経験 (問7)

今回もはじめて受講した者の比率は、今回「1講座」登録の比率56.1%、今回2講座登録の比率9.0%の合計で65.1%になる。

今回も含めた登録講座数 (問7)

大学：講座名	件数	1 講座	2 講座 (今 回 2 講座 に 対 し て)	3 講座 (今 回 は 1 講座 で あ る)	4 講座	5 講座 以上	平均 値
合計	3422	56.1	9.0	7.8	5.4	11.4	2.5
北海道大学：創造性：文化を築き科学を進める力 (T)	135	22.2	18.5	11.1	7.4	28.1	4.0
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	170	33.5	14.1	7.6	8.8	22.4	3.5
東北大学：みちのくの遺産 (T)	132	20.5	11.4	2.3	17.4	27.3	4.6
東北大学：老年期 (R)	135	17.0	14.8	7.4	15.6	23.7	4.5
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	167	39.5	11.4	14.4	9.6	15.0	2.8
新潟大学：麗しき酒 (R)	133	27.8	16.5	9.8	13.5	14.3	3.2
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	51.5	18.2	21.2	3.0	-	2.1
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	41	61.0	17.1	9.8	4.9	4.9	1.9
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	337	87.2	5.0	4.7	1.8	0.9	1.2
信州大学：市民生活と法 (R)	116	59.0	8.6	7.8	9.5	4.3	1.5
名古屋大学：時間-人間とのかかわり (T)	92	27.2	9.8	10.9	9.8	14.1	3.7
名古屋大学：内と外 (R)	65	24.6	12.3	7.7	10.8	13.8	3.8
大阪大学：かっこいい材料とシステム (T)	321	37.1	9.3	15.9	7.8	6.5	3.3
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	32.8	14.4	8.9	8.9	22.2	3.8
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	121	28.9	8.3	9.9	10.7	19.8	4.3
広島大学：書の内容 (R)	308	78.2	5.8	2.9	1.9	4.9	1.8
香川大学：四国の交通と経済 (T)	805	88.7	2.2	5.5	1.9	1.4	1.2
熊本大学：島の科学と文化 (T)	152	42.8	14.5	11.2	5.3	4.6	3.1
熊本大学：近世の熊本 (R)	279	52.7	9.7	6.5	8.6	4.7	2.7
東洋大学：地域からの視座 (T)	47	61.7	12.8	12.8	2.1	6.4	1.7
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	75.5	11.3	1.9	1.9	3.8	1.6
(T) テレビ講座：全体	2342	60.7	7.6	8.8	5.4	9.7	2.4
(R) ラジオ講座：全体	1480	49.0	11.4	6.6	8.2	14.0	2.8

4. 視聴講座（問8）

これまで登録せずに視聴した経験を持つ者が35.6%いる。これにはメディアの間の差はない。

正式登録なしの視聴講座数（問8）

大学：講座名	件数	1 ～ 2 講座	3 ～ 4 講座	5 講座 以上	ある 全体を 通して ではない	視 聴 した こと は ない
合 計	3020	12.1	3.5	2.9	17.1	54.4
北海道大学：創造性・文化を繋ぎ科学を進める力 (T)	125	8.8	4.8	2.4	15.2	68.8
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	158	6.3	1.9	3.2	17.1	71.5
東北大学：みちのくの遺産 (T)	131	16.0	4.6	6.1	19.8	53.4
東北大学：老年期 (R)	135	15.6	3.7	4.4	24.4	51.9
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	167	13.2	4.2	3.6	16.8	62.3
新潟大学：麗しき酒 (R)	131	13.0	5.3	3.1	22.1	56.5
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	9.1	-	3.0	36.4	51.5
金沢大学：石川の文学を読む (R)	41	17.1	2.4	2.4	29.3	48.8
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	333	23.4	3.0	1.8	14.7	57.1
信州大学：市民生活と法 (R)	135	14.8	2.2	3.0	23.0	57.0
名古屋大学：時間－人間とのかかわり (T)	90	6.7	5.6	3.3	27.8	56.7
名古屋大学：内と外 (R)	64	9.4	10.9	3.1	15.6	60.9
大阪大学：かじこ材料とシステム (T)	318	11.6	2.8	3.5	19.5	62.6
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	178	8.9	4.5	2.8	13.4	70.4
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	10.8	5.8	9.2	21.7	52.5
広島大学：書の健康 (R)	335	10.7	3.9	1.5	12.2	71.6
香川大学：四国の交通と経済 (T)	802	9.7	2.7	1.1	13.7	72.7
熊本大学：色の科学と文化 (T)	149	12.1	1.3	4.0	16.1	66.4
熊本大学：近世の熊本 (R)	274	11.3	4.4	2.9	14.6	66.8
東洋大学：地域からの発展 (T)	47	10.6	4.3	6.4	27.7	51.1
東洋大学：思春期の心とからだ (R)	53	11.3	-	7.5	20.8	60.4
(T) テレビ講座：全体	2315	12.6	3.3	2.9	17.0	54.2
(R) ラジオ講座：全体	1505	11.3	3.9	2.9	17.1	64.7

5. 予備知識 (問9)

講座の内容に関する予備知識については、「ややあった」とする者の比率が36.7%で一番高いが、「あまりなかった」、「まったくなかった」の比率もそれぞれ31.4%、22.0%と高い。

講座内容に対する予備知識 (問9)

大学：講座名	件数	全くなかった	あまりなかった	ややあった	かなりあった	非常にあった	平均値
合 計	2347	22.0	31.4	36.7	8.7	1.2	1.4
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	134	34.3	40.3	21.6	3.0	0.7	1.0
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	169	34.3	32.5	29.6	3.0	0.6	1.0
東北大学：みちのくの遺産 (T)	131	25.2	32.8	34.4	6.1	1.5	1.3
東北大学：老年期 (R)	136	12.5	29.4	39.7	16.2	2.2	1.7
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	170	28.8	25.3	27.6	16.5	1.8	1.4
新潟大学：麗しき酒 (R)	133	30.8	31.6	27.8	8.3	1.5	1.2
金沢大学：日本海域の自然 (T)	33	15.2	15.2	60.6	9.1	-	1.6
金沢大学：石川の文学を読む (R)	40	10.0	37.5	42.5	10.0	-	1.5
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	343	28.6	27.1	35.6	7.6	1.2	1.3
信州大学：市民生活と法 (R)	135	18.5	33.3	43.0	4.4	0.7	1.4
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	92	22.8	40.2	34.8	2.2	-	1.2
名古屋大学：内と外 (R)	65	32.3	43.1	24.6	-	-	0.9
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	321	12.5	34.0	44.2	9.0	0.3	1.5
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	20.0	35.0	37.8	7.2	-	1.3
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	13.9	43.4	27.9	13.9	0.8	1.4
広島大学：樹の健康 (R)	333	21.9	13.2	42.6	17.1	5.1	1.7
香川大学：四国の交通と経済 (T)	802	18.1	35.2	39.2	7.1	0.5	1.4
熊本大学：色の科学と文化 (T)	152	36.2	37.5	22.4	2.6	1.3	1.0
熊本大学：近世の熊本 (R)	281	18.5	29.5	40.9	10.3	0.7	1.5
琉球大学：地域からの発展 (T)	46	21.7	34.8	37.0	4.3	2.2	1.3
琉球大学：琉球の心とからだ (R)	53	9.4	18.9	52.8	17.0	1.9	1.8
(T) テレビ講座：全体	2346	22.1	33.8	35.6	7.7	0.8	1.3
(R) ラジオ講座：全体	1525	21.8	27.9	38.4	10.2	1.8	1.4

6. 学校卒業後の学習経験 (問10)

学校卒業後の継続的な学習経験としては、「NHKや民間放送の番組」をあげた者の比率が33.0%で最も高い。

「特に継続的に学習したことはない」と答えた者の比率は26.6%で、昨年度の33.8%よりやや低い比率であるが、放送公開講座が新たな学習機会を生み出している事が示される数値である。

また、「放送公開講座」をあげた者の比率は15.4%で、昨年度の6.8%から大幅にアップしている。

学校卒業後の継続的な学習の経験 (問10)

大学：講座名	件数	放送公開講座	NHKや民間放送の番組	大学の公開講座	通信教育	社会教育機関(公民館・図書館等)	ゼンター等カルチャー・	自主的学習グループへの参加	特に継続的に学習したことはない	その他
合計	3747	15.4	33.0	10.1	19.5	20.0	8.0	12.8	26.6	3.7
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	132	25.0	37.1	16.7	15.9	21.2	8.3	7.6	21.2	3.8
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	166	22.3	35.5	17.5	18.1	21.7	12.0	10.2	16.9	1.2
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	31.1	34.8	12.1	18.2	18.2	15.2	12.9	23.5	3.0
東北大学：孝年期 (R)	135	29.6	29.6	15.6	19.3	23.0	14.1	19.3	19.3	5.2
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	166	22.9	30.7	10.8	22.3	25.3	4.8	13.3	24.7	7.2
新潟大学：粟しき酒 (R)	133	21.1	34.6	9.8	21.8	29.3	4.5	12.8	24.8	4.5
金沢大学：日本海地域の自然 (T)	33	3.0	48.5	24.2	15.2	27.3	6.1	12.1	24.2	3.0
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	41	4.9	43.9	14.6	24.4	46.3	12.2	14.6	17.1	-
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	327	9.8	38.5	2.4	12.2	23.9	9.2	22.6	26.6	4.3
信州大学：市民生活と法 (R)	92	7.6	35.9	8.7	13.0	25.0	7.6	19.6	23.9	2.2
名古屋大学：時間-人間とのかかわり (T)	93	22.6	45.2	19.4	12.9	23.7	20.4	15.1	10.8	2.2
名古屋大学：内と外 (R)	66	24.2	56.1	24.2	13.6	31.8	18.2	9.1	3.0	4.5
大阪大学：かしこい材料とシステム (T)	320	23.8	44.1	20.9	22.8	14.1	10.0	9.1	16.9	6.9
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	30.6	31.7	20.0	22.8	18.9	8.3	6.7	22.2	3.9
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	121	33.9	35.5	19.8	18.0	22.3	5.0	9.1	14.9	1.7
広島大学：書画の健康 (R)	323	10.2	20.7	4.0	6.5	11.1	8.0	9.6	54.8	4.0
香川大学：四国の交通と経済 (T)	799	4.5	33.7	4.1	34.0	14.0	4.6	12.1	33.8	3.1
熊本大学：魚の科学と文化 (T)	153	9.2	15.0	2.6	5.2	27.5	5.2	11.8	26.1	2.0
熊本大学：近世の熊本 (R)	277	7.9	16.6	2.5	8.3	24.9	1.8	11.9	23.8	2.5
琉球大学：地域からの現象 (T)	46	6.5	45.7	17.4	21.7	26.1	17.4	19.6	19.6	2.2
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	52	11.5	40.4	15.4	25.0	15.4	15.4	23.1	23.1	3.8
(T) テレビ講座：全体	2322	14.5	35.6	9.7	22.6	19.0	7.8	13.1	25.7	3.9
(R) ラジオ講座：全体	1465	16.8	28.9	10.7	14.6	21.6	8.4	12.2	28.2	3.3

第3節 受講状況

1. 番組の視聴状況（問11-a）

番組の視聴状況（録画・録音による視聴を含む）については、「12回以上」とほぼ毎回視聴した者も比率が27.8%と最も高い。

性別では、受講回数の頻度値が男性8.8、女性7.6でやや男性の方が高い値になっている。しかし、視聴状況を示すこの値の差は、性別よりも年齢段階別で顕著である。「20歳未満」3.5、「20～29歳」6.3、「30～39歳」7.9、「40～49歳」8.6、「50～59歳」8.9、「60～69歳」9.3、「70歳以上」9.6と、年齢段階が高くなるにつれて、視聴回数は増えている。

番組の視聴状況（問11-a）

大学：講座名	件数	2回以下	3～5回	6～8回	9～11回	12回以上	平均値
合 計	3779	11.0	15.7	18.0	27.5	27.8	8.4
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	132	10.6	9.1	17.4	24.2	38.6	9.1
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	169	6.5	7.1	9.5	33.1	43.8	10.1
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	4.5	11.4	13.6	42.4	28.0	9.4
東北大学：老年期 (R)	132	3.0	10.6	12.1	31.1	43.2	9.9
新潟大学：雪国の住民と都市 (T)	160	3.8	8.1	17.5	24.4	46.3	10.1
新潟大学：麗しき酒 (R)	124	5.6	11.3	15.3	28.2	39.5	9.5
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	6.1	18.2	9.1	24.2	42.4	9.2
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	40	5.0	12.5	27.5	30.0	25.0	8.8
徳州大学：信濃の民俗音楽 (T)	328	15.9	19.2	16.2	28.4	20.4	7.5
徳州大学：市民生活と法 (R)	129	11.6	20.2	26.4	24.8	17.1	7.5
名古屋大学：時間－人間とのかかわり (T)	92	4.3	5.4	9.8	31.5	48.9	10.5
名古屋大学：内と外 (R)	66	7.6	10.6	10.6	25.8	45.5	9.7
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	319	7.5	15.0	15.7	29.5	32.3	8.9
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	178	8.4	14.6	20.8	32.6	23.6	8.4
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	118	4.2	11.9	21.2	34.7	28.0	9.1
広島大学：書の内容 (R)	320	43.1	17.2	16.9	14.7	8.1	4.6
香川大学：四国の交通と経済 (T)	793	8.2	20.6	23.0	25.0	23.3	8.1
熊本大学：色の科学と文化 (T)	149	9.4	25.5	20.8	24.8	19.5	7.7
熊本大学：近世の熊本 (R)	267	9.4	16.1	14.6	31.8	28.1	8.7
琉球大学：地域からの環境 (T)	47	4.3	12.8	29.8	29.8	23.4	8.7
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	51	-	19.6	23.5	27.5	29.4	9.2
(T) テレビ講座：全体	2303	8.4	16.6	18.9	27.8	28.2	8.5
(R) ラジオ講座：全体	1476	15.0	14.4	16.6	26.9	27.1	8.1

番組の視聴状況 (問 11 - a)

	件数	2回以下	3回 5回	6回 8回	9回 11回	12回以上	平均
合計	3779	11.0	15.7	13.0	22.5	27.8	8.4
性別・男性	2381	7.7	14.5	19.4	27.8	30.6	8.8
女性	1373	16.5	17.9	15.7	27.2	22.7	7.6
学歴・小学校・新制中学・旧制高小卒	188	12.2	13.3	15.5	22.3	35.6	8.6
新制高校・旧制中学・旧制高女卒	1223	6.5	15.0	17.9	28.4	32.2	9.0
短大・新制高専卒	385	6.5	19.2	17.7	26.2	30.4	8.6
大学・旧制高校・旧制専門学校卒	1358	7.4	14.9	19.5	31.2	26.9	8.7
大学院卒	57	10.5	17.5	22.8	21.1	28.1	8.1
専修学校・各種学校卒	137	19.7	16.8	20.4	27.0	16.1	7.1
大学・大学院・短大・高専在学中	210	21.0	19.0	18.1	22.4	19.5	7.0
専修学校・各種学校・高校在学中	168	63.7	16.7	8.3	8.3	3.0	2.8
その他	43	7.0	14.0	11.6	25.6	41.9	9.6

番組の視聴状況（問11-a）

	件数	2回以下	3～5回	6～8回	9～11回	12回以上	平均値
合 計	3773	11.0	15.7	18.0	27.5	27.8	8.4
年齢：20歳未満	120	54.2	20.8	10.0	11.7	3.3	3.5
20歳～29歳	442	25.6	19.7	21.3	18.6	14.9	6.3
30歳～39歳	505	9.3	21.4	21.8	27.5	20.0	7.9
40歳～49歳	821	7.1	16.6	20.0	29.5	26.9	8.6
50歳～59歳	845	6.5	13.6	19.9	29.0	31.0	8.9
60歳～69歳	755	7.3	12.6	13.4	30.3	36.4	9.3
70歳以上	282	7.4	10.3	11.3	30.9	40.1	9.6
職業：農林漁業	114	24.6	21.1	15.8	17.5	21.1	6.7
事務・技術系	1273	7.9	17.1	21.2	28.4	25.4	8.4
労務系	43	7.0	18.6	20.9	20.9	32.6	8.6
管理職・自由業	294	8.2	17.7	17.3	27.2	29.6	8.5
教育・研究職	258	9.3	15.9	19.8	28.7	26.4	8.4
中小企業経営者・商店主	138	7.2	19.6	18.8	31.2	23.2	8.3
主婦・家事手伝い	558	6.5	15.1	16.1	32.8	29.6	8.9
学生	373	40.2	17.7	16.9	15.0	10.2	5.0
無 職	590	3.6	9.2	12.7	31.0	43.6	10.0
その他	118	11.0	15.3	22.0	22.9	28.8	8.4

2. 番組視聴を継続しなかった理由（問11-b）

この項目は昨年度より新たに加えられたものである。番組視聴を継続しなかった（7割以下しか視聴しなかった）理由としては、内容や学習方法に関する不満からの者はほとんどなく、「放送時間帯があわなかった」、「時間がとれなかった」がそれぞれ64.6%、54.3%と高い比率を占めている。

しかし、講座によっては「内容が難しすぎた」、「内容が期待していたものと違っていた」、「放送を通じての学習のやり方に違和感を感じるようになった」の比率がかなり高いものもあり、今後さらに分析をすすめる必要がある。

番組の視聴を継続しなかった理由（問11-b）

大学：講座名	件数	時間がとれなかった	あわなかつた放送時間帯が	内容が難しすぎた	内容がやさしすぎた	内容が期待していた	ものと違っていた	電波の受信状態が良くなかった	放送を通じての学習のやり方に違和感を感じようになった	その他
合 計	1781	54.3	54.5	5.8	0.9	7.0	5.7	2.5	9.1	
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	51	49.0	60.8	3.9	-	3.9	2.0	-	21.6	
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	41	56.1	36.6	-	-	2.4	9.8	-	34.1	
東北大学：みちのくの建築 (T)	50	66.0	68.0	4.0	-	6.0	2.0	-	10.0	
東北大学：老年期 (R)	43	65.1	62.8	4.7	-	4.7	14.0	-	7.0	
新潟大学：曹国の住居と都市 (T)	47	63.8	57.4	4.3	2.1	12.8	2.1	-	17.0	
新潟大学：麗しき酒 (R)	44	62.6	47.7	15.9	2.3	4.5	11.4	-	13.6	
金沢大学：日本海城の自然 (T)	12	66.7	83.3	-	-	-	-	-	16.7	
金沢大学：石川の文芸を讀む (R)	19	63.2	57.9	-	-	10.5	5.3	-	21.1	
徳州大学：信濃の民俗音楽 (T)	170	54.7	67.6	6.5	-	3.5	1.2	-	6.5	
徳州大学：市民生活と法 (R)	40	60.0	75.0	-	-	7.5	5.0	2.5	5.0	
名古屋大学：時間-人間とのかわり (T)	23	56.5	56.5	13.0	-	13.0	4.3	-	13.0	
名古屋大学：内と外 (R)	22	63.6	54.5	9.1	-	9.1	-	9.1	18.2	
大阪大学：かっこいい材料とシステム (T)	134	49.3	64.2	16.4	-	6.7	3.0	0.7	17.9	
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	88	51.1	52.3	3.4	2.3	4.5	33.0	-	11.4	
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	47	55.3	61.7	12.8	-	8.5	-	-	8.5	
広島大学：書の内容 (R)	244	53.3	70.1	0.8	2.5	2.9	7.0	2.0	4.9	
香川大学：四国の交通と経済 (T)	441	49.4	74.1	2.3	0.7	10.7	1.4	2.0	6.6	
熊本大学：色の科学と文化 (T)	87	58.6	51.7	25.3	2.3	5.7	3.4	11.5	-	
熊本大学：近世の熊本 (R)	109	55.0	51.4	4.6	0.9	4.6	15.6	15.6	-	
琉球大学：地域からの発展 (T)	23	43.5	73.9	4.3	-	26.1	-	4.3	13.0	
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	26	76.9	57.7	3.8	-	19.2	-	-	19.2	
(T) テレビ講座：全体	1085	52.8	67.6	7.5	0.6	8.4	1.8	1.9	9.2	
(R) ラジオ講座：全体	676	56.8	59.8	3.3	1.5	4.9	12.0	3.7	8.9	

3. 録音・録画の有無（問12-a）

全体で48.5%と半数近くの受講生が録音または録画を行っている。メディア別ではテレビ講座52.4%、ラジオ講座42.4%と、テレビ講座受講生の方がやや比率が高い。

年齢別にみると、「20歳未満」と「70歳以上」がそれぞれ24.1%、28.1%と低いが、これはこの年齢層に比較的自由時間が多いためと推測される。

録画・録音の有無（問12-a）

大学：講座名	件数	録画（録音）した	しなかった
合 計	3120	48.5	51.5
北海道大学：創造性：文化を築き科学を進める力 (T)	127	56.7	43.3
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	163	48.5	51.5
東北大学：みちのくの歴史 (T)	127	42.5	57.5
東北大学：老年期 (R)	131	48.1	51.9
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	162	54.3	45.7
新潟大学：酒と人生 (R)	127	59.8	40.2
金沢大学：日本海地域の自然 (T)	33	84.8	15.2
金沢大学：石川の文学をめぐり (R)	38	55.3	44.7
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	332	33.7	66.3
信州大学：市民生活と法 (R)	123	58.5	41.5
名古屋大学：時間—人間とのかかわり (T)	88	65.9	34.1
名古屋大学：内と外 (R)	64	53.1	46.9
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	314	66.9	33.1
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	172	37.2	62.8
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	116	56.0	44.0
広島大学：書と健康 (R)	323	30.3	69.7
香川大学：四国の交通と経済 (T)	789	55.4	44.6
熊本大学：色と科学と文化 (T)	143	33.6	66.4
熊本大学：近世の熊本 (R)	254	30.3	69.7
琉球大学：地域からの発展 (T)	42	45.2	54.8
琉球大学：恩恵の心とからだ (R)	52	57.7	42.3
(T) テレビ講座：全体	2273	52.4	47.6
(R) ラジオ講座：全体	1447	42.4	57.6

録画、録音の有無（問12-a）

	件数	録画（録音）した	しなかった
合 計	3720	45.5	51.5
年齢・20歳未満	116	24.1	75.9
20歳～29歳	443	42.0	58.0
30歳～39歳	504	61.1	38.9
40歳～49歳	805	56.8	43.2
50歳～59歳	830	52.7	47.3
60歳～69歳	746	41.7	58.3
70歳以上	268	28.2	71.8
職業・農林漁業	110	30.9	69.1
事務・技術系	1255	57.0	43.0
労務系	39	51.3	48.7
管理職・自由業	283	55.5	44.5
教育・研究職	257	61.1	38.9
中小企業経営者・商店主	141	52.5	47.5
主婦・家事手伝い	548	46.9	53.1
学 生	370	28.4	71.6
無 職	579	37.7	62.3
その他	116	50.0	50.0

4. 録音・録画の回数 (問12-b)

録音・録画の回数は「12回以上」の比率が32.7%で最も高い。

年齢段階別にみると、年齢段階が高いほど録音・録画の回数が多い傾向がみられる。

録画、録音の回数 (問12-a)
録画、録音の有無 (問12-b)

大学：講座名	件数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回	12 回以上	平均
合計	1759	12.3	20.4	13.7	20.8	32.7	35.7	8.2						8.2
北海道大学：初年度・文化と歴史を学ぶ者 (T)	70	7.1	14.3	10.0	32.9	35.7	9.2							9.2
北海道大学：口承文学の世界 (R)	78	20.5	9.0	14.1	17.9	38.5	8.4							8.4
東北大学：みちのくの建築 (T)	53	9.4	34.0	13.2	22.6	20.8	7.4							7.4
東北大学：老年期 (R)	60	18.3	15.0	15.0	18.3	33.3	8.2							8.2
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	80	10.0	16.3	10.0	21.3	42.5	9.2							9.2
新潟大学：酒 (R)	73	6.8	24.7	11.0	16.4	41.1	8.7							8.7
金沢大学：日本海嶺の自然 (T)	28	7.1	25.0	-	10.7	57.1	9.4							9.4
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	21	9.5	19.0	28.6	14.3	28.6	8.1							8.1
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	107	18.7	19.6	13.1	15.0	33.6	7.7							7.7
信州大学：市民生活と法 (R)	71	23.9	15.5	15.5	18.3	26.8	7.3							7.3
名古屋大学：時間・人間とのかわり (T)	57	5.3	14.0	12.3	17.5	50.9	9.9							9.9
名古屋大学：内と外 (R)	34	5.9	20.6	8.8	17.6	47.1	9.3							9.3
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	208	6.3	13.0	14.9	26.4	39.4	9.4							9.4
大阪大学：国語化時代における法と政治 (R)	64	14.1	20.3	17.2	21.9	26.6	7.8							7.8
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	64	10.9	15.6	15.6	35.9	21.9	8.3							8.3
広島大学：徳の健康 (R)	94	36.2	22.3	7.4	17.0	17.0	5.8							5.8
香川大学：四国の交通と経済 (T)	426	8.5	25.8	16.0	18.3	31.5	8.1							8.1
熊本大学：色の科学と文化 (T)	47	14.9	27.7	10.6	29.8	17.0	7.1							7.1
熊本大学：近世の熊本 (R)	76	9.2	21.1	10.5	27.6	31.6	8.5							8.5
琉球大学：地域からの環境 (T)	19	10.5	31.6	21.1	15.8	21.1	7.0							7.0
琉球大学：恩恵の心とからだ (R)	29	20.7	34.5	20.7	6.9	17.2	5.9							5.9
(T) テレビ講座：全体	1159	9.3	21.0	13.9	21.9	33.9	8.5							8.5
(R) ラジオ講座：全体	600	18.2	19.3	13.3	18.7	30.5	7.7							7.7

録画、録音回数（問12-a）
録画、録音の有無（問12-b）
録画（録音）した

	件数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回以上	平均 値
合 計	1759	12.3	20.4	13.7	20.8	32.7	8.1					
年齢、20歳未満	28	25.0	39.3	7.1	14.3	14.3	5.6					
20歳～29歳	186	23.7	19.9	14.0	16.1	26.3	7.1					
30歳～39歳	303	10.2	23.1	18.8	20.8	27.1	7.9					
40歳～49歳	446	9.9	23.5	13.7	20.2	32.7	8.3					
50歳～59歳	427	12.6	19.0	14.3	17.1	37.0	8.4					
60歳～69歳	296	9.5	14.5	9.8	28.7	37.5	9.1					
70歳以上	70	12.9	17.1	7.1	30.0	32.9	8.5					
職業、農林漁業	30	23.3	16.7	10.0	20.0	30.0	7.7					
事務・技術系	704	10.2	20.3	15.6	21.0	32.8	8.3					
労働系	20	15.0	25.0	5.0	10.0	45.0	8.4					
管理職・自由業	151	11.9	27.8	8.6	14.6	37.1	8.1					
教育・研究職	154	7.8	19.5	20.1	19.5	33.1	8.5					
中小企業経営者・商店主	72	9.7	19.4	15.3	26.4	29.2	8.5					
主婦・家事手伝い	245	14.7	20.8	15.9	20.4	28.2	7.8					
学生	105	36.2	25.7	9.5	12.4	16.2	5.5					
無 職	214	7.5	13.1	7.9	30.4	41.1	9.5					
その他	55	10.9	23.6	10.9	18.2	36.4	8.3					

5. 録音・録画した理由（問12-c）

この質問項目は、昨年度のより取り入れられた項目である。録音・録画をした理由のトップの比率を占めるのは「放送時間帯に視聴できなかった」の63.1%で、これに比率第3位の「好きな時間に視聴したかった」の22.0%を加えると85.1%の者が、時間的な制約の克服のために録音・録画を行っている。

テレビ講座、ラジオ講座とも傾向はほぼ同じであるが、テレビのほうがやや時間的なことを理由にあげる者の比率が高い。

録音・録画理由の比率第2位は「繰り返し視聴したかったの」の43.4%である。そして、この比率はテレビ講座が37.6%であるのに対して、ラジオ講座が55.1%と、「放送時間帯に視聴できなかった」の51.0%をこえている。

録音・録画した理由（問12-c）										
大学・講座名	件数	放送時間帯に 視聴できなかった	好きな時間に 視聴したかった	繰り返し 視聴したかった	くり返し 視聴したかった	視聴したかった 保存して	おきだかった 他の人にも	視聴させたかった	良くなかった 自宅の受信状態が	その他
合 計	1710	63.1	22.0	43.4	27.3	8.8	1.1	1.3		
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力（T）	72	75.0	16.7	41.7	18.1	2.8	-	2.8		
北海道大学：口承文芸の世界（R）	79	39.2	20.3	51.9	27.8	5.1	1.3	1.3		
東北大学：みちのくの建築（T）	54	75.9	18.5	46.3	27.8	5.6	-	-		
東北大学：老年期（R）	53	65.1	17.5	54.0	19.0	17.5	-	1.6		
新潟大学：雪国の住居と都市（T）	88	63.6	25.0	39.8	33.0	9.1	-	2.3		
新潟大学：閑しき酒（R）	75	45.3	38.7	54.7	25.3	12.0	2.7	1.3		
金沢大学：日本海城の自然（T）	28	64.3	25.0	39.3	39.3	3.6	-	3.6		
金沢大学：石川の文学を讀む（R）	21	57.1	23.8	57.1	9.5	19.0	-	4.8		
信州大学：信濃の民俗音楽（T）	109	63.3	19.3	35.8	44.0	16.5	1.8	-		
信州大学：市民生活と法（R）	48	54.2	16.7	47.9	33.3	2.1	-	2.1		
名古屋大学：時間・人間とのかかわり（T）	57	61.4	22.8	56.1	24.6	1.8	-	1.8		
名古屋大学：内と外（R）	34	41.2	23.5	76.5	23.5	11.8	-	-		
大阪大学：かしい材料とシステム（T）	210	67.6	24.8	41.9	32.4	7.6	-	2.4		
大阪大学：国際化時代における法と政治（R）	64	54.7	18.8	57.8	26.6	1.6	7.8	1.6		
広島大学：身近なバイオテクノロジー（T）	65	63.1	20.0	53.8	21.5	6.2	-	1.5		
広島大学：歳の新陳代謝（R）	98	62.2	16.3	45.9	22.4	10.2	3.1	-		
香川大学：四国の交通と経済（T）	432	72.2	23.1	28.2	24.3	9.7	0.5	0.9		
熊本大学：色の科学と文化（T）	48	75.0	16.7	39.6	18.8	10.4	-	-		
熊本大学：近世の熊本（R）	76	35.5	18.4	64.5	38.2	9.2	3.9	-		
東洋大学：地域からの異議（T）	19	63.2	15.8	47.4	21.1	10.5	5.3	-		
琉球大学：思春期の心とからだ（R）	30	63.3	30.0	53.3	20.0	6.7	-	3.3		
(T) テレビ講座：全体	1182	69.0	22.1	37.6	27.9	8.6	0.4	1.4		
(R) ラジオ講座：全体	588	51.0	21.8	55.1	26.0	9.0	2.4	1.2		

6. テキストの予習 (問13-a)

テキストでの予習については、「少しした」者の比率が32.0%で一番高い。「全くしなかった」19.0%、「ほとんどしなかった」18.2%で非予習派は37.2%、「大体した」20.1%、「毎回した」10.8%で予習派は30.9%と、やや非予習派の方が高い。

テキストの予習 (問13-a)

大学：講座名	件数	全 く し な か つ た	ほ と ん ど し な か つ た	少 し し た	大 体 し た	毎 回 し た	平 均 値
台 計	3555	19.0	18.2	32.0	20.1	10.8	1.9
北海道大学：創造性・文化と養育科学を導める力 (T)	126	5.6	14.3	26.2	31.7	22.2	2.5
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	158	7.0	12.0	22.8	32.3	25.9	2.6
東北大学：みちのくの建築 (T)	130	8.5	15.4	30.8	27.7	17.7	2.3
東北大学：老年期 (R)	133	6.0	15.0	25.6	31.6	21.8	2.5
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	159	11.9	18.9	28.9	22.6	17.6	2.2
新潟大学：置き酒 (R)	128	13.3	18.0	32.8	19.5	16.4	2.1
金沢大学：日本海嶺の自然 (T)	32	12.5	21.9	34.4	25.0	6.3	1.9
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	38	10.5	10.5	28.9	31.6	18.4	2.4
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	312	34.9	18.6	33.0	9.9	3.5	1.3
信州大学：市民生活と法 (R)	126	23.8	18.3	33.3	15.9	8.7	1.7
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	92	12.0	16.3	33.7	25.0	13.0	2.1
名古屋大学：内と外 (R)	63	12.7	11.1	36.5	20.6	19.0	2.2
大阪大学：かしい材料とシステム (T)	317	14.8	17.4	37.5	21.5	8.8	1.9
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	172	17.4	15.1	30.2	27.9	9.3	2.0
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	121	7.4	16.5	33.1	28.9	14.0	2.3
広島大学：館の建築 (R)	310	49.0	17.7	18.7	11.3	3.2	1.0
香川大学：四国の交通と経済 (T)	784	22.3	25.6	35.3	13.0	3.7	1.5
熊本大学：色の科学と文化 (T)	140	15.0	18.6	37.9	17.9	10.7	1.9
熊本大学：近世の熊本 (R)	255	8.2	11.8	34.1	26.3	19.6	2.4
琉球大学：地域からの発想 (T)	46	8.7	8.7	52.2	21.7	8.7	2.1
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	5.7	18.9	37.7	28.3	9.4	2.2
(T) テレビ講座：全体	2259	18.5	20.1	34.4	18.3	8.7	1.8
(R) ラジオ講座：全体	1436	19.8	15.1	28.2	22.8	14.1	2.0

7. 視聴中のノートやメモ (問13-b)

視聴中のノートやメモについては、「少しした」と答えた者の比率が29.8%で最も高い。

しかし「全くしなかった」24.8%、「ほとんどしなかった」18.3%で、非ノート派の合計比率は43.1%と高い。

視聴中のノートやメモ (問13-b)

大学：講座名	件数	全くしなかった	ほとんどしなかった	少しした	大体した	毎回した	平均値
台 計	3674	24.3	18.3	29.8	15.5	11.6	1.7
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	125	20.0	14.4	33.6	12.0	20.0	2.0
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	155	20.0	14.2	23.9	22.6	19.4	2.1
東北大学：みちのくの建築 (T)	129	11.6	18.6	41.9	15.5	12.4	2.0
東北大学：老年期 (R)	130	12.3	14.6	30.0	25.4	17.7	2.2
新潟大学：響国の住居と都市 (T)	156	21.2	17.3	28.2	16.0	17.3	1.9
新潟大学：醸しき酒 (R)	128	23.4	12.5	28.9	19.5	15.6	1.9
金沢大学：日本海嶺の自然 (T)	32	25.0	9.4	40.6	18.8	6.3	1.7
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	39	25.6	7.7	43.6	7.7	15.4	1.8
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	315	30.8	14.9	26.7	18.7	8.9	1.6
信州大学：市民生活と法 (R)	114	21.9	26.3	24.6	14.0	13.2	1.7
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	92	19.6	10.9	27.2	22.8	19.6	2.1
名古屋大学：内と外 (R)	64	21.9	18.8	28.1	10.9	20.3	1.9
大阪大学：かしい材料とシステム (T)	317	28.7	24.0	30.6	11.0	5.7	1.4
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	172	16.9	18.0	35.5	20.9	8.7	1.9
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	16.7	24.2	35.8	15.8	7.5	1.7
広島大学：徳の醸成 (R)	310	52.9	18.4	20.6	4.8	3.2	0.9
香川大学：四国の交通と経済 (T)	786	28.2	22.9	28.4	13.6	6.9	1.5
熊本大学：色の科学と文化 (T)	144	15.3	12.5	37.5	16.0	18.8	2.1
熊本大学：近世の熊本 (R)	248	12.9	12.9	34.3	17.7	22.2	2.2
琉球大学：地域からの発想 (T)	45	13.3	22.2	35.6	17.8	11.1	1.9
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	3.8	13.2	26.4	34.0	22.6	2.6
(T) テレビ講座：全体	2261	24.6	19.5	30.7	14.9	10.1	1.7
(R) ラジオ講座：全体	1413	25.0	16.2	28.3	16.4	14.1	1.8

8. 視聴後の復習 (問13-c)

この質問項目は、昨年度より取り入れられた項目である。これによると、「毎回した」者の比率こそ5.4%と低いが、これに「大体した」の14.4%と「少しした」の33.0%を合わせると半数以上 (52.8%) の受講生が何等かの復習を視聴後に行っている。

これは昨年度とほぼ同じ傾向を示している。

視聴後の復習 (問13-c)

大学：講座名	件数	全 く し な か た	ほ と ん ど し な か た	少 し し た	大 体 し た	毎 回 し た	平 均 値
合 計	3535	22.9	24.4	33.0	14.4	5.4	1.5
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	121	12.4	23.1	39.7	16.5	8.3	1.9
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	153	12.4	24.2	34.6	17.6	11.1	1.9
東北大学：みちのくの建築 (T)	128	13.3	23.4	41.4	12.5	9.4	1.8
東北大学：老年期 (R)	132	12.1	25.8	34.1	18.9	9.1	1.9
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	156	15.4	15.4	30.1	25.0	14.1	2.1
新潟大学：醸しき酒 (R)	126	20.6	12.7	32.5	26.2	7.9	1.9
金沢大学：日本海城の自然 (T)	32	25.0	15.6	40.6	12.5	6.3	1.6
金沢大学：石川の文学を創む (R)	38	15.8	18.4	52.6	10.5	2.6	1.7
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	311	31.8	19.9	33.4	12.2	2.6	1.3
信州大学：市民生活と法 (R)	124	13.7	21.8	45.2	12.1	7.3	1.8
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	92	13.0	22.8	40.2	12.0	12.0	1.9
名古屋大学：内と外 (R)	63	12.7	14.3	38.1	20.6	14.3	2.1
大阪大学：かっこいい材料とシステム (T)	316	25.0	24.7	32.9	14.2	3.2	1.5
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	169	21.9	32.5	24.3	16.0	5.3	1.5
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	19.2	19.2	35.0	20.0	6.7	1.8
広島大学：書院の健康 (R)	306	51.0	20.6	18.3	7.8	2.3	0.9
香川大学：四国の交通と経済 (T)	774	26.9	32.8	29.3	10.2	0.8	1.3
熊本大学：色の科学と文化 (T)	140	19.3	25.7	39.3	10.7	5.0	1.6
熊本大学：近世の熊本 (R)	236	12.3	24.2	36.4	19.5	7.6	1.9
筑波大学：地盤からの現象 (T)	45	8.9	22.2	44.4	22.2	2.2	1.9
琉球大学：思考の心とからだ (R)	53	7.5	18.9	49.1	13.2	11.3	2.0
(T) テレビ講座：全体	2235	23.1	25.5	33.6	13.5	4.3	1.5
(R) ラジオ講座：全体	1400	22.7	22.5	32.0	15.8	7.0	1.6

9. 視聴内容についての話し合い (問13-d)

この質問項目は、昨年度より取り入れられた項目である。これによると、「全くしなかった」の比率が40.5%で最も高く、「ほとんどしなかった」の18.0%を加えると、48.5%が話し合いをしていない。

しかし、比率の第2位は「少しした」の33.3%であり、「毎回した」と答えた者も2.1%と低いながらも存在する。51.5%と過半数の者が視聴後に何等かの話し合いの機会をもっているのであり、今後こうした機会、態様について調査研究の必要があろう。

視聴内容についての話し合い (問13-d)

大学：調査名	件数	全くしなかった	ほとんどしなかった	少しした	大体した	毎回した	平均値
合計	3507	40.5	18.0	33.3	6.1	2.1	1.1
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	120	45.8	19.2	30.0	2.5	2.5	1.0
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	153	37.9	17.0	35.3	7.8	2.0	1.2
東北大学：みちのくの建築 (T)	126	46.0	20.6	29.4	2.4	1.6	0.9
東北大学：老年期 (R)	130	37.7	18.5	31.5	8.5	3.8	1.2
新潟大学：響国の住居と都市 (T)	150	42.7	14.7	32.7	7.3	2.7	1.1
新潟大学：麗しき酒 (R)	126	44.4	16.7	28.6	7.9	2.4	1.1
金沢大学：日本海城の自然 (T)	32	46.9	15.6	37.5	-	-	0.9
金沢大学：石川の文学を読む (R)	37	43.2	13.5	35.1	8.1	-	1.1
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	317	19.9	13.9	44.2	17.7	4.4	1.7
信州大学：市民生活と法 (R)	121	28.9	19.0	46.3	4.1	1.7	1.3
名古屋大学：時間-人間-のかかわり (T)	92	50.0	8.7	33.7	7.6	-	1.0
名古屋大学：内と外 (R)	62	48.4	19.4	27.4	4.8	-	0.9
大阪大学：かじこい材料とシステム (T)	314	52.2	17.8	27.4	2.2	0.3	0.8
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	167	66.5	16.2	15.6	1.8	-	0.5
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	117	44.4	19.7	32.5	-	3.4	1.0
広島大学：書の世界 (R)	308	49.4	15.2	29.5	3.9	1.9	0.9
香川大学：四国の交通と歴史 (T)	769	34.2	23.3	35.6	4.9	2.0	1.2
熊本大学：色の科学と文化 (T)	139	43.9	18.0	28.8	8.6	0.7	1.0
熊本大学：近世の熊本 (R)	232	38.4	19.0	32.3	5.6	4.7	1.2
琉球大学：地域からの理想 (T)	43	25.6	7.0	55.8	9.3	2.3	1.6
琉球大学：恩希の心とからだ (R)	52	23.1	11.5	50.0	11.5	3.8	1.6
(T) テレビ観覧：全体	2219	38.4	18.7	34.6	6.4	2.0	1.1
(R) ラジオ観覧：全体	1388	43.8	16.9	31.3	5.6	2.3	1.1

10. スクーリングへの出席状況 (問14-a)

この質問事項は、昨年度よりの項目である。これによると、スクーリングに全く出席しなかった者の比率は47.2% (昨年度50.9%) で約半数いる。ただしこの比率は講座ごとにばらつきが大きい。

スクーリングへの出席状況 (問14-a)

大学：講座名	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回
合計	5913	47.2	23.1	13.1	4.5	2.0	-
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	135	25.9	14.8	31.9	27.4	-	-
北海道大学：口承文学の世界 (R)	172	29.1	13.4	31.4	26.2	-	-
東北大学：みちのくの建築 (T)	132	35.6	18.9	18.2	17.4	9.8	-
東北大学：老年期 (R)	136	34.6	19.9	21.3	15.4	8.8	-
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	170	55.3	23.5	8.2	9.4	2.9	0.6
新潟大学：麗しき酒 (R)	133	41.4	21.8	16.5	14.3	6.0	-
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	54.5	21.2	15.2	9.1	-	-
金沢大学：石川の文学を読む (R)	41	70.7	9.8	9.8	9.8	-	-
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	346	49.4	21.7	14.5	9.8	4.6	-
信州大学：市民生活と法 (R)	135	67.4	23.0	9.6	-	-	-
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	32.3	7.5	10.8	24.7	24.7	-
名古屋大学：内と外 (R)	67	25.4	13.4	31.3	29.9	-	-
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	321	54.2	15.3	20.6	-	-	-
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	180	54.4	19.4	26.1	-	-	-
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	122	24.6	15.6	41.8	18.0	-	-
広島大学：書の内容 (R)	351	71.8	10.5	13.7	4.0	-	-
香川大学：四国の交通と経済 (T)	808	51.5	45.9	2.6	-	-	-
熊本大学：色の科学と文化 (T)	155	34.8	14.8	33.5	16.8	-	-
熊本大学：近世の熊本 (R)	285	31.6	15.4	34.4	18.6	-	-
東海大学：地域からの発展 (T)	47	19.1	23.4	39.3	19.1	-	-
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	18.9	34.0	37.7	9.4	-	-
(T) テレビ講座：全体	2362	47.0	27.4	15.0	8.2	2.4	-
(R) ラジオ講座：全体	1553	47.6	16.5	22.9	11.7	1.3	-

11. スクーリングに全く出席しなかった理由 (問14-b)

スクーリングに全く出席しなかった理由については、77.2%の者が「スクーリングに出席する時間がなかった」と答えており、また24.7%の者が「スクーリング会場が遠くて出席できなかった」と、時間的、場所的な障害を理由にあげている。

「放送番組とテキスト又はその一方で十分学習できた」と、スクーリング自体が不要だったとする者は14.7%と低比率である。

「現在のスクーリングには魅力を感じなかった」と、実施されているスクーリングに批判的な回答の比率は4.6%とさらに低率である。

全く出席しなかった理由 (問14-b)

大学：調査名	件数	放送番組とテキスト	十分学習できた又はその一方で	スクーリング会場が遠くて出席できなかった	出席する時間がなかった	現在のスクーリングには魅力を感じなかった	その他
合計	618		14.7	24.7	77.2	4.6	11.1
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	33		-	30.3	60.6	-	27.3
北海道大学：日本文学の世界 (R)	43		11.6	32.6	58.1	-	23.3
東北大学：みちのくの遺産 (T)	44		18.2	15.9	86.4	2.3	13.6
東北大学：老年期 (R)	43		23.3	25.6	76.7	4.7	14.0
新潟大学：異国の住居と都市 (T)	88		17.0	37.5	73.9	2.3	10.2
新潟大学：異しき酒 (R)	43		16.3	25.6	72.1	2.3	14.0
金沢大学：日本海城の自然 (T)	17		11.8	23.5	88.2	5.9	11.8
金沢大学：石川の文学を読む (R)	26		23.1	11.5	88.5	3.8	7.7
徳州大学：徳島の民俗音楽 (T)	133		14.3	35.3	68.4	6.0	6.8
徳州大学：市民生活と法 (R)	54		5.6	40.7	81.5	-	11.1
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	29		6.9	20.7	86.2	6.9	17.2
名古屋大学：内と外 (R)	14		14.3	28.6	85.7	-	7.1
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	200		14.0	25.0	78.5	6.0	12.0
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	96		18.8	27.1	72.9	5.2	10.4
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	25		12.0	36.0	80.0	8.0	-
広島大学：島の健康 (R)	216		5.1	25.5	80.1	8.3	6.9
香川大学：四国の交通と経済 (T)	394		19.0	10.7	82.7	3.8	11.4
熊本大学：色の科学と文化 (T)	48		6.3	31.3	77.1	2.1	8.3
熊本大学：近世の熊本 (R)	73		24.7	38.4	65.8	1.4	15.1
東洋大学：地域からの現場 (T)	9		22.2	33.3	66.7	22.2	11.1
東洋大学：思考期の心とからだ (R)	10		30.0	40.0	60.0	10.0	10.0
(T) テレビ調査：全体	1020		15.4	22.2	78.4	4.5	11.2
(R) ラジオ調査：全体	618		13.4	28.8	75.2	4.7	11.0

第4節 受講生の反応

1. 受講した感想 (問15)

受講後の感想については、「期待どおりで満足した」と答えた者比率が43.0%で最も高い。比率の第2位は「期待はずれの点もあるが受講してよかった」38.6%、第3位は「期待以上で満足した」の14.9%で、満足したと答えた者の合計は96.5%になる。

受講した感想 (問15)

大学：講座名	件数	大変満足した 期待していた以上で	満足した 期待どおりで	期待はするが 受講してよかった	不満足だった 期待はずれの 点が多かった	まったく 期待はずれ	平均値
北海道大学：創造性・文化を築き科学を導く力 (T)	131	17.6	42.0	36.6	3.8	-	2.7
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	169	25.4	46.2	28.4	-	-	3.0
東北大学：みちのくの建築 (T)	130	14.6	44.6	37.7	2.3	0.8	2.7
東北大学：孝年期 (R)	134	11.9	51.5	35.1	0.7	0.7	2.7
新潟大学：豊田の住居と都市 (T)	167	18.0	28.1	49.1	3.6	1.2	2.6
新潟大学：麗しき酒 (R)	130	24.6	39.2	33.8	1.5	0.8	2.9
金沢大学：日本海城の自然 (T)	32	12.5	46.9	40.6	-	-	2.7
金沢大学：石川の文学を創む (R)	40	12.5	52.5	27.5	7.5	-	2.7
信州大学：健康の民俗音楽 (T)	334	34.1	44.6	18.6	1.8	0.9	3.1
信州大学：市民生活と法 (R)	124	19.4	42.7	36.3	1.6	-	2.8
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	91	14.3	39.6	44.0	2.2	-	2.7
名古屋大学：内と外 (R)	62	19.4	35.5	41.9	3.2	-	2.7
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	316	11.1	42.4	43.7	2.5	0.3	2.6
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	173	6.9	41.0	46.2	4.0	1.7	2.5
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	117	13.7	50.4	31.6	3.4	0.9	2.7
広島大学：農の健康 (R)	265	7.2	43.0	37.0	4.2	8.7	2.4
香川大学：四国の交通と経済 (T)	790	6.5	42.3	48.5	2.7	0.1	2.5
熊本大学：色の科学と文化 (T)	150	17.3	36.7	42.7	3.3	-	2.7
熊本大学：近世の熊本 (R)	277	19.9	52.0	27.4	0.4	0.4	2.9
琉球大学：地域からの発展 (T)	47	8.5	34.0	53.2	2.1	2.1	2.4
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	7.5	47.2	45.3	-	-	2.6
(T) テレビ講座：全体	2305	14.5	41.6	40.8	2.6	0.4	2.7
(R) ラジオ講座：全体	1427	15.6	45.4	35.0	2.0	2.0	2.7

2. 理解の程度 (問16)

理解の程度については、「おおむね理解できた」とする者の比率が52.3%で最も高い。

理解の程度 (問16)

大学：調査名	件数	よく理解できた	おおむね理解できた	半分くらい	理解できた	あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった	平均値
合計	3769	11.9	52.3	27.1	6.8	1.3	2.7	2.7
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	133	9.0	49.6	33.8	7.5	-	-	2.6
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	171	14.0	59.6	24.6	1.8	-	-	2.9
東北大学：みちのくの遺産 (T)	131	16.0	55.7	22.9	5.3	-	-	2.8
東北大学：孝年刊 (R)	135	16.3	65.2	14.8	3.7	-	-	2.9
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	164	11.6	61.6	21.3	5.5	-	-	2.8
新潟大学：醸しき酒 (R)	130	10.8	54.6	28.5	6.2	-	-	2.7
金沢大学：日本海城の自然 (T)	32	9.4	68.8	15.6	6.3	-	-	2.8
金沢大学：石川の文学を讀む (R)	40	5.0	57.5	30.0	7.5	-	-	2.6
旭州大学：信濃の民俗音楽 (T)	339	15.9	43.7	29.5	9.1	1.8	-	2.6
徳州大学：市民生活と法 (R)	127	11.8	43.3	36.2	7.1	1.6	-	2.6
名古屋大学：時間-人間とのかわり (T)	92	1.1	51.1	40.2	7.6	-	-	2.5
名古屋大学：内と外 (R)	63	6.3	49.2	39.7	4.8	-	-	2.6
大阪大学：かしい材料とシステム (T)	317	6.3	40.1	43.5	9.1	0.9	-	2.4
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	175	9.7	58.9	21.7	8.6	1.1	-	2.7
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	119	6.7	47.9	33.6	11.8	-	-	2.5
広島大学：書の内容 (R)	276	18.5	38.4	23.9	8.7	10.5	-	2.5
香川大学：西国の交通と経済 (T)	795	10.1	59.1	25.7	4.9	0.3	-	2.7
熊本大学：色の科学と文化 (T)	153	5.9	45.1	32.7	15.0	1.3	-	2.4
熊本大学：近世の熊本 (R)	279	21.5	53.8	19.0	5.4	0.4	-	2.9
琉球大学：地域からの発展 (T)	46	2.2	67.4	28.3	-	2.2	-	2.7
筑波大学：思考の心とからだ (R)	52	19.2	57.7	23.1	-	-	-	3.0
(T) テレビ講座：全体	2321	9.8	52.2	30.0	7.4	0.6	-	2.6
(R) ラジオ講座：全体	1448	15.1	52.4	24.2	5.9	2.3	-	2.7

3. 今後利用したい継続的な学習方法 (問17)

今年度も、今後利用したい継続的な学習方法として、放送公開講座が最も高い比率をしめている。

今後利用したい継続的な学習方法 (問17)

大学：講座名	件数	放送公開講座	NHKや民間放送の番組	大学の公開講座	通信教育	社会教育機関（公民館・図書館等）	カルチャー・センター等	自主的学習グループへの参加	学習手段は特に決めていない	考えていない特約学習とは	その他
計	3790	50.3	29.7	18.5	12.5	15.8	5.7	9.7	25.5	3.2	1.5
北海道大学：創造性・文化を築き科学を導く力 (T)	134	65.7	18.7	20.9	10.4	18.7	6.0	5.2	24.6	1.5	0.7
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	171	57.9	18.1	15.2	9.4	18.7	8.2	9.9	24.0	1.2	1.8
東北大学：みちのくの歴史 (T)	132	65.2	27.3	30.3	9.8	14.4	9.8	9.1	20.5	0.8	2.3
東北大学：孝年期 (R)	136	69.1	21.3	24.3	8.1	17.6	7.4	11.0	27.2	-	2.9
新潟大学：異国の住居と都市 (T)	164	61.6	29.9	15.9	11.6	18.3	1.2	9.8	23.8	1.8	4.9
新潟大学：麗しき酒 (R)	129	57.4	30.2	14.7	12.4	21.7	3.1	10.1	26.4	0.8	3.1
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	42.4	36.4	27.3	9.1	21.2	-	6.1	33.3	-	-
金沢大学：石川の文学を読む (R)	40	40.0	35.0	30.0	12.5	22.5	-	15.0	32.5	-	-
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	336	33.3	37.8	8.0	4.8	17.3	7.7	16.1	28.9	4.8	2.1
信州大学：市民生活と法 (R)	94	50.0	29.8	10.6	13.8	24.5	9.6	7.4	13.8	1.1	1.1
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	59.9	29.0	30.1	8.6	19.4	10.8	14.0	6.5	-	2.2
名古屋大学：内と外 (R)	65	60.0	40.0	40.0	9.2	12.3	9.2	12.3	9.2	-	1.5
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	320	66.3	33.8	28.8	15.3	7.8	5.6	4.4	21.3	0.9	3.1
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	178	61.8	25.3	29.8	18.5	12.9	3.9	4.5	21.9	1.7	1.7
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	71.7	30.8	33.3	6.7	11.7	5.8	5.8	17.5	-	1.7
広島大学：徳の健康 (R)	317	23.0	22.7	12.0	4.1	8.2	6.0	6.0	35.6	17.0	3.2
香川大学：西国の交通と経済 (T)	803	41.3	36.6	13.8	23.4	7.5	4.0	8.7	31.4	2.5	1.1
熊本大学：色の科学と文化 (T)	151	46.4	21.9	14.6	7.3	37.7	6.6	13.2	21.9	4.0	-
熊本大学：近世の熊本 (R)	274	50.7	21.5	14.6	8.0	36.1	2.9	13.9	21.9	2.9	0.4
琉球大学：琉球からの発展 (T)	47	48.9	38.3	27.7	8.5	12.8	17.0	17.0	21.3	-	-
琉球大学：恩恵の心とからだ (R)	53	49.1	28.3	18.9	7.5	13.2	11.3	22.6	34.0	1.9	-
(T) テレビ講座：全体	2333	51.0	32.8	18.7	14.3	13.7	5.7	9.6	25.6	2.2	1.8
(R) ラジオ講座：全体	1457	49.2	24.6	18.3	9.5	19.1	5.7	9.8	25.7	4.8	1.9

放送公開講座の実施形態として、現在の「放送番組＋テキスト＋スクーリング」方式を支持する者が38.8%で最も多いが、それに「通信指導」を加えることを望む者も29.3%いる。

— 291 —

5. 希望する講座のタイプ (問19)

全体としては、「教養講座」と「総合講座」を望む者の比率が、それぞれ54.9%、46.7%と高い。しかし、比率の第3位、第4位の「専門基礎講座」31.0%、「専門講座」14.3%を専門的講座としてまとめると、その比率は45.3%で、「総合講座」の比率に近いものになる。

希望する講座のタイプ (問19)

大学：講座名	件数	教養講座	総合講座	専門基礎講座	専門講座	語学講座	スポーツ講座・趣味
合計	3755	54.9	46.7	31.0	14.3	14.2	14.3
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	133	60.2	49.6	24.8	11.3	9.0	7.5
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	170	52.9	40.6	27.1	17.6	15.9	4.7
東北大学：みちのくの歴史 (T)	132	65.2	52.3	32.6	16.7	6.1	6.8
東北大学：孝年期 (R)	136	69.1	55.9	24.3	12.5	12.5	8.1
新潟大学：曹国の住居と都市 (T)	167	65.3	48.5	35.3	16.8	10.8	9.6
新潟大学：醸し酒 (R)	132	63.6	50.0	32.6	10.6	13.6	15.9
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	66.7	66.7	36.4	9.1	-	-
金沢大学：石川の文学を読む (R)	40	70.0	50.0	30.0	17.5	5.0	2.5
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	325	52.3	34.2	23.7	15.1	16.9	26.2
信州大学：市民生活と法 (R)	101	48.5	41.6	33.7	7.9	8.9	9.9
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	92	51.1	54.3	42.4	22.8	10.9	6.5
名古屋大学：内と外 (R)	65	56.9	55.4	32.3	20.0	15.4	4.6
大阪大学：かしの材料とシステム (T)	321	60.4	51.4	40.2	16.5	10.3	8.7
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	179	61.5	51.4	35.2	20.7	12.3	3.9
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	119	62.2	57.1	30.3	14.3	14.3	6.7
広島大学：書の種類 (R)	312	51.9	29.8	22.4	13.5	18.3	25.0
香川大学：四国の交通と経済 (T)	803	43.6	53.7	34.1	14.3	14.2	16.4
熊本大学：色の科学と文化 (T)	150	55.3	36.0	26.0	4.7	22.7	24.7
熊本大学：近世の熊本 (R)	275	59.3	37.8	23.3	10.2	18.5	20.4
琉球大学：地域からの発展 (T)	47	42.6	61.7	46.8	14.9	17.0	12.8
琉球大学：思春期の心とからだ (R)	53	47.2	43.4	43.4	13.2	28.3	18.9
(T) テレビ講座：全体	2322	53.2	49.4	32.9	14.5	13.3	14.5
(R) ラジオ講座：全体	1463	57.6	42.4	28.0	13.9	15.6	14.0

6. 放送大学公開講座の視聴希望 (問20)

他大学で実施されている講座の視聴希望者の比率は74.9%ときわめて高い。

放送公開講座番組の視聴希望 (問20)

大学：講座名	件数	視聴してみたい	どちらともいえない	視聴したくない
合 計	3924	74.9	20.5	5.7
北海道大学：創造性・文化を築き科学を進める力 (T)	131	79.4	13.7	6.9
北海道大学：口承文芸の世界 (R)	170	83.5	14.7	1.8
東北大学：みちのくの建築 (T)	131	88.5	9.2	2.3
東北大学：老年期 (R)	136	85.3	9.6	5.1
新潟大学：雪国の住居と都市 (T)	169	81.7	13.0	5.3
新潟大学：麗しき酒 (R)	133	78.2	19.5	2.3
金沢大学：日本海城の自然 (T)	33	81.8	12.1	6.1
金沢大学：石川の文学を概む (R)	41	75.6	19.5	4.9
信州大学：信濃の民俗音楽 (T)	329	70.8	25.2	4.0
信州大学：市民生活と法 (R)	122	89.3	9.8	0.8
名古屋大学：時間・人間とのかかわり (T)	93	74.2	23.7	2.2
名古屋大学：内と外 (R)	65	73.8	24.6	1.5
大阪大学：かしろい材料とシステム (T)	321	86.0	12.8	1.2
大阪大学：国際化時代における法と政治 (R)	179	78.2	14.5	7.3
広島大学：身近なバイオテクノロジー (T)	120	85.0	11.7	3.3
広島大学：書の内容 (R)	320	52.2	34.7	13.1
香川大学：四国の交通と経済 (T)	803	69.9	27.9	2.2
熊本大学：色の科学と文化 (T)	150	71.3	22.0	6.7
熊本大学：近世の熊本 (R)	278	56.2	22.7	11.2
琉球大学：琉球からの歴史 (T)	47	91.5	8.5	-
琉球大学：思慕の心とからだ (R)	53	86.8	11.3	1.9
(T) テレビ講座：全体	2327	76.3	20.5	3.2
(R) ラジオ講座：全体	1497	72.6	20.4	6.9

第5節 短期大学分の集計

以下は、高岡短期大学実施分の集計結果である。高岡短期大学の講座は、テレビなどによる30分番組を合計9回実施したものである。

受講生の性別（問1）

	件	男	女
高岡短期大学：工業の世界	数		
(T)	121	71.9	28.1

受講生の年齢（問2）

	件	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上
高岡短期大学：工業の世界	数							
(T)	121	0.8	13.2	27.3	30.6	15.7	12.4	-

受講生の学歴（問3）

	件	旧制高小卒 小学校・新制中学	旧制高中学 新制高校	旧制高女卒 新制高校	短大・新制高専卒	旧制専門学校卒 大学・旧制高校	大学院卒	各種学校卒 専修学校	短大・高専在学中	大学在学中	大学院在学中	各種学校在学中 専修学校	高校在学中	その他
高岡短期大学：工業の世界	数													
(T)	121	5.8	48.8	7.4	28.9	2.5	3.3	0.8	-	0.8	-	0.8	-	0.8

受講生の職業（問4）

	件	農林漁業	事務・技術系	労務系	管理職・自由業	教育・研究職	中小企業経営者	商店主	主婦・家事手伝い	学生	無職	その他
高岡短期大学：工業の世界	数											
(T)	121	2.5	56.2	7.4	5.0	4.1	4.1	9.1	1.7	9.1	0.8	0.8

講座を知った媒体 (問5)

件	テレビ	ラジオ	新聞	市町村の広報	大学からの案内	人の話	その他
数							
高岡短期大学：工芸の世界 (T)	120	4.2	20.8	22.5	40.8	5.8	7.5

受講動機 (問6)

件	地域の大学・短大の授業を受けてみたい	家庭で学習できる	授業を高めるため	テーマに関心があった	仕事に役立つと思った	余暇を有効に利用したかった	面白かったから	放送利用の大学公開講座を以前受講して	その他
数									
高岡短期大学：工芸の世界 (T)	121	6.6	19.8	28.1	52.9	40.5	5.0	15.7	2.5

今回も含めた登録講座数 (問7)

件	1講座	2講座 (全回テレビ・ラジオの2講座に登録)	3講座 (全回1講座登録)	4講座	5以上講座	10講座以上	平均値
数							
高岡短期大学：工芸の世界 (T)	121	91.7	1.7	4.1	2.5	-	1.1

正式登録なしの視聴講座数 (問8)

件	1講座	2講座	3以上講座	5講座以上	視聴したことはない
数					
高岡短期大学：工芸の世界 (T)	121	14.0	0.8	-	14.0

講座内容に対する予備知識 (問9)

	件数	全くなかった	あまりなかった	ややあった	かなりあった	非常にあった	平均値
高岡短期大学：工業の世界	(T) 121	25.6	33.1	29.8	10.7	0.8	1.3

学校卒業後の継続的な学習の経験 (問10)

	件数	放送公開講座	NHKや民間放送の番組	大学の公開講座	通信教育	社会教育機関(公民館・図書館等)	カルチャー！	自主的学習グループへの参加	特に継続的に学習したことはない	その他
高岡短期大学：工業の世界	(T) 121	1.7	19.8	3.3	20.7	10.7	5.0	8.3	33.9	6.6

番組の視聴状況 (問11-a)

	件数	2回以下	3～4回	5～6回	7～8回	9回	平均値
高岡短期大学：工業の世界	(T) 105	1.9	7.6	17.1	29.5	43.8	7.5

番組の視聴を継続しなかった理由 (問11-b)

	件数	時間がとれなかった	放送時間帯が合わない	内容が難しすぎた	内容がやさしすぎた	内容が期待していたものと違っていた	番組の受信状態が良くなかった	のやり方に違和感を放送を通じての学習を感じることがなかった	その他
高岡短期大学：工業の世界	(T) 27	59.3	70.4	11.1	3.7	22.2	-	-	3.7

録画、録音の有無 (問 12-a)

件数	録画（録音）した	しなかった
合計	121	74.4 25.6
高岡短期大学：工業の世界（T）	121	74.4 25.6

録画、録音回数 (問 12-b) (録画 (録音) した 録画、録音の有無 (問 12-a))

	件数	1 ~ 2回	3 ~ 5回	6 ~ 8回	9 ~ 11回	12回以上	平均値
合 計	83	2.4	15.7	10.8	28.9	42.2	7.2
高岡短期大学：工業の世界 (T)	83	2.4	15.7	10.8	28.9	42.2	7.2

録画、録音した理由 (問 12-c) (録画 (録音) した 録画、録音の有無 (問 12-a))

件数	視聴できなかった 放送時間帯に	視聴したかった 好きな時間に	視聴したかった くり返し	視聴したかった 保存して	おきたかった	視聴させたかった 他の人にも	自宅の受信状態が 良くなかった	その他
合計	89	64.0	16.9	56.2	34.8	6.7	-	1.1
高岡短期大学：工業の世界 (T)	89	64.0	16.9	56.2	34.8	6.7	-	1.1

テキストの予習 (問 13-a)

件数	全く	しなかった	ほとんど	少しした	全体した	修回した	平均値
合計	120	7.5	24.2	43.3	19.2	5.8	1.9
高岡短期大学：工業の世界 (T)	120	7.5	24.2	43.3	19.2	5.8	1.9

視聴中のノートやメモ（問13-b）

	件数	全くしなかった	ほとんどしなかった	少しした	大体した	毎回した	平均値
高岡短期大学：工業の世界 (T)	121	25.6	26.4	27.3	15.7	5.0	1.5

視聴後の復習（問13-c）

	件数	全くしなかった	ほとんどしなかった	少しした	大体した	毎回した	平均値
高岡短期大学：工業の世界 (T)	120	9.2	29.2	40.0	15.8	5.8	1.8

視聴内容についての話し合い（問13-d）

	件数	全くしなかった	ほとんどしなかった	少しした	大体した	毎回した	平均値
高岡短期大学：工業の世界 (T)	120	47.5	24.2	21.7	4.2	2.5	0.9

スクーリングへの出席状況（問14-a）

	件数	0回	1回	2回	3回	4回	5回
高岡短期大学：工業の世界 (T)	121	24.8	5.0	16.5	24.0	29.8	-

	件数	その他	
		額がきつになつた スカーフ・ハンカチは 現在の なつた 出張する時向が スカーフ・ハンカチに きつになつた 狭へて出張 スカーフ・ハンカチ場が 十金手置もなつた 又はその一方を 返還希望と云ふ人	- 7.4 85.2 33.3 33.3 14.8
(T)	27		高橋製菓大学：工芸の世界

		件数	平均値
高岡短期大学：工業の世界	(T)	120	2.2
		期待していた以上で	4.2
		大変満足した	19.2
		期待とちがいで	66.7
		満足した	8.3
		期待はそれの	1.7
		点があるが	
		点が多く	
満足した			
期待はそれの			
満足してよかった			
期待はそれの			
全く期待はずれ			
だった			

件数	平均値
120	2.3
(T)	2.5
	2.5
	18.3
	37.5
	32.5
	9.2

[illegible]

放送公開講座の望ましい学習方法 (問18)

[illegible]

希望する講座のタイプ（問19）

	件数	教養講座	総合講座	専門基礎講座	専門講座	語学講座	趣味・スポーツ講座
高岡短期大学：工芸の世界 (T)	119	42.9	29.4	52.9	20.2	14.3	25.2

放送公開講座番組の視聴希望（問20）

	件	数	77.3	20.2	2.5
			依頼してみたい	いえなら いやらせとや	時々なら 依頼したいとは

(参考)

平成元年度放送利用の大学公開講座の受講生に対する

アンケート調査（各大学共通分）

本年度の放送利用の大学公開講座は、12大学（大学群）において右表のとおり実施いたしました。

このアンケート調査は、これらの放送利用の大学公開講座を受講された方全員を対象として共通の様式で実施するもので、講座をより一層充実したものにするための資料を得ることを目的としています。

なお、この調査は無記名とし、結果は統計的にまとめますので、個人に対してご迷惑をおかけするようなことはありません。ご多忙の折り、誠に恐縮ですがアンケート調査にご協力のほどお願いいたします。

大学共同利用機関

放送教育開発センター

記入上の注意

- ① アンケートの回答は、すべて回答用紙（別紙）の該当欄にご記入ください。
- ② 問1から問20については、該当する回答の番号又は数字を、【番号・数字記入欄】にお書きください。
（なお、回答に「その他」を選ばれた方及び問4で「8. 学生」を選ばれた留学生の方は具体的回答を【自由記述欄】にお書きください。）
- ③ 問21、問22については、具体的内容を【自由記述欄】にお書きください。

〔放送利用の大学公開講座実施大学及び講座名〕

(注：(TV)はテレビ講座、(R) はラジオ講座)

北海道大学	(TV) 創造性：文化を築き科学を進める力 (R) 口承文芸の世界－日本とヨーロッパの昔話を中心に－
東北大学	(TV) みちのくの建築－風土と景観－ (R) 老年期
新潟大学	(TV) 雪国の住居と都市－風土の中で住環境を考える－ (R) 麗しき酒－人の歩みとともに－
金沢大学	(TV) 日本海域の自然－日本海域のロマン－ (R) 石川の文学を読む－昭和をふりかえって－
信州大学	(TV) 信濃の民俗音楽 (R) 市民生活と法－急激な社会変動の諸例を通じて－
名古屋大学	(TV) 時間－人間とのかかわり (R) 内と外－日本文化のアイデンティティを求めて
大阪大学	(TV) かしこい材料とシステム－産業科学の新しい芽－ (R) 国際化時代における法と政治
広島大学	(TV) 身近なバイオテクノロジー (R) 歯の健康
四国地区国立大学 (企画：香川大学)	(TV) 四国の交通と経済－21世紀へのかけ橋－
熊本大学	(TV) 色の科学と文化 (R) 近世の熊本
琉球大学	(TV) 地域からの発想 －文化・社会・自然・生活環境から地域を読む－ (R) 思春期の心とからだ－沖縄の医療と保健 その2－
高岡短期大学	(TV) みじかなコンピュータ

問1 あなたの性別についてお答えください。

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

1. 20歳未満 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳 5. 50歳～59歳 6. 60歳～69歳
7. 70歳以上

問3 あなたの学歴についてお答えください。

なお、現在在学中の方は、7～11の中から選んでください。

1. 小学校・新制中学・旧制高小卒
2. 新制高校・旧制中学・旧制高女卒
3. 短大・新制高専卒
4. 大学・旧制高校・旧制専門学校卒
5. 大学院卒
6. 専修学校・各種学校卒
7. 短大・高専在学中
8. 大学在学中
9. 大学院在学中
10. 専修学校・各種学校在学中
11. 高校在学中
12. その他（回答用紙の自由記述欄Aに具体的にお書きください）

問4 あなたの職業についてお答えください。

1. 農林漁業（自営者・家族従事者を含める）
2. 事務・技術系の職業（一般会社・一般公務員など）
3. 労務系の職業（工員・運転手・大工なども含める）
4. 大企業・官公庁の幹部職員及び自由業（開業医や弁護士なども含める）
5. 教育職・研究職（学校教員・大学教官・研究所々員など）
6. 中小企業経営者・商店主
7. 主婦・家事手伝い
8. 学生（留学生の場合は、回答用紙の自由記述欄Bに国籍をお書きください）
9. 無職
10. その他（回答用紙の自由記述欄Cに具体的にお書きください）

問5 この講座が実施されることを主に何で知りましたか。次のうちから選んでください。（2つ以内）

1. テレビ
2. ラジオ
3. 新聞
4. 市町村・公民館の広報等
5. 大学からの案内（ポスター、パンフレット等）
6. 人の話
7. その他（回答用紙の自由記述欄Dに具体的にお書きください）

問6 この講座を受講しようとした主な動機を、次のうちから選んでください。（2つ以内）

1. 地元の大学教授の授業を受けてみたいから
2. 家庭で学習できるから
3. 教養を高めるために
4. テーマに関心があったから
5. 仕事に役立つと思ったから
6. 日常の生活に役立つと思ったから
7. 余暇を有効に利用したかったから
8. 放送利用の大学公開講座を以前受講して、面白かったから
9. その他（回答用紙の自由記述欄Eに具体的にお書きください）

問7 放送利用の大学公開講座の受講生として正式に登録したのは、今回を含めて何講座ですか。

1. 1講座
2. 2講座（今回、テレビ、ラジオの2講座に登録した）
3. 2講座（今回は1講座で、かつて1講座登録したことがある）
4. 3講座
5. 4講座
6. 5～9講座
7. 10講座以上

問8 受講生として正式には登録しないで、放送利用の大学公開講座の放送された番組を視聴したことが、これまでにどの程度ありますか。

1. 講座全体を通して視聴したことが1～2講座ある
2. 講座全体を通して視聴したことが3～4講座ある
3. 講座全体を通して視聴したことが5講座以上ある
4. 講座全体を通してではないが視聴したことはある
5. 視聴したことはない

問9 今回受講したこの講座の内容に関して、どのくらいの予備知識がありましたか。

1. 全くなかった
2. あまりなかった
3. ややあった
4. かなりあった
5. 非常にあった

問10 学校卒業後の継続的な学習についておたずねします。よく利用しているものを選んでください。（2つ以内）

なお、現在在学中の方は、学校での正規の授業や課外活動以外の学習についてお答えください。

1. 放送利用の大学公開講座
2. NHKや民間放送の番組（放送利用の大学公開講座を除く）
3. 大学の公開講座（放送利用の大学公開講座を除く）
4. 通信教育
5. 社会教育機関（公民館、図書館等）
6. カルチャー・センター等
7. 自主的学習グループへの参加
8. 特に継続的に学習したことはない
9. その他（回答用紙の自由記述欄Fに具体的にお書きください）

問11 この講座番組に対するあなたの視聴状況について、おたずねします。

以下のa)～b)の設問についてお答えください。

a) 番組13回(ただし、高岡短期大学にあっては9回)のうち、何回視聴しましたか。回答欄に数字でお答えください。

なお、テレビ講座については録画、ラジオ講座については録音したもので視聴した場合も、視聴とみなします。

b) 前項a)の設問で9回以下(ただし、高岡短期大学においては6回以下)と回答された方におたずねします。

番組を視聴しなかった(できなかった)理由は、次のうちどれですか。該当するものを選んでください。(2つ以内)

1. 学習のための時間がとれなかったから
2. 放送時間帯があわなかったから
3. 内容が難しすぎたから
4. 内容がやさしすぎたから
5. 内容が期待していたものと違っていたから
6. 電波の受信状態が良くなかったから
7. 放送を通じて学習するというやり方に、違和感を感じるようになったから
8. その他(回答用紙の自由記述欄Gに具体的にお書きください)

問12 番組の録画・録音についておたずねします。以下のa)～c)の設問にお答えください。

a) 番組を録画（ラジオについては録音）しましたか。

1. 録画（録音）した → 設問b)、c)にお答えください。

2. しなかった → 問13に進んでください。

b) 前項a)で1. 録画（録音）したと回答した方におたずねします。録画（録音）した回数は何回ですか。回答欄に数字でお答えください。

c) 録画、録音した理由は、次のうちどれですか。該当するものを選んでください。（2つ以内）

1. 放送時間帯に視聴できなかったから
2. 放送時間帯に視聴することはできたが、好きな時間に視聴したかったから
3. くり返し視聴したかったから
4. 番組を保存しておきたかったから
5. 他の人にも視聴させたかったから
6. 自宅の受信状態が悪くなかったから（自宅外で録画、録音を行った）
7. その他（回答用紙の自由記述欄Hに具体的にお書きください）

問13 この講座の放送された番組を視聴する際に、あなたはどのようなことをなさ
 いましたか。以下のa)～d)の設問についてお答えください。

毎 回 し た	大 体 し た	少 し し た	ほ し と な ん か ど っ た	全 し な か っ た
------------------	------------------	------------------	---	----------------------------

	┌──────────┐
a) テキストの予習をした	5 4 3 2 1

	┌──────────┐
b) 視聴中にノートやメモをとった	5 4 3 2 1

	┌──────────┐
c) 視聴後、復習をした	5 4 3 2 1

	┌──────────┐
d) 視聴内容について、他の人と話し 合い等をした	5 4 3 2 1

問14 この講座のスクーリングへの出席状況について、おたずねします。

以下の a) ～ b) の設問についてお答えください。

a) 何回出席されましたか。回答欄に数字でお答えください。

b) スクーリングに全く出席されなかった方におたずねします。スクーリングに出席しなかった理由をお答えください。（2つ以内）

1. 放送番組とテキスト、又はその一方で十分学習できたから
2. スクーリング会場が遠くて出席できなかったから
3. スクーリングに出席する時間がなかったから
4. 現在のスクーリングには魅力を感じなかったから
5. その他（回答用紙の自由記述欄 I に具体的にお書きください）

問15 この講座を受講してみて、あなたの感想はどうでしたか。1つだけ選んでください。

1. 期待していた以上で、大変満足した
2. 期待どおりで、満足した
3. 期待はずれの点もあるが受講してよかった
4. 期待はずれの点が多く、不満足だった
5. 全く期待はずれだった

問16 この講座を受講してみて、講座の内容をどの程度理解できたと思いますか。

1つだけ選んでください。

1. よく理解できた
2. おおむね理解できた
3. 半分くらい理解できた
4. あまり理解できなかった
5. ほとんど理解できなかった

問17 今後どのような手段で学習を続けようと思っていますか。利用したいものを選んでください。（2つ以内）

1. 放送利用の大学公開講座
2. NHKや民間放送の番組（放送利用の大学公開講座を除く）
3. 大学の公開講座（放送利用の大学公開講座を除く）
4. 通信教育
5. 社会教育機関（公民館、図書館等）
6. カルチャー・センター等
7. 自主的学習グループへの参加
8. 学習を続けようとは思っているが、学習手段は特に決めていない
9. 特に学習を続けようとは考えていない
10. その他（回答用紙の自由記述欄Jに具体的にお書きください）

問18 放送利用の大学公開講座の学習方法についておたずねします。

あなたが最も望ましいと思われる方法を次の中から1つだけ選んでください。

1. 放送番組＋テキスト＋スクーリング＋通信指導（郵便による添削指導等）＋試験
2. 放送番組＋テキスト＋スクーリング＋通信指導
3. 放送番組＋テキスト＋スクーリング
4. 放送番組＋テキスト
5. 放送番組＋スクーリング
6. テキスト＋スクーリング
7. 放送番組だけ
8. テキストだけ
9. その他（回答用紙の自由記述欄Kに具体的な組合せをお書きください）

問19 今後、放送利用の大学公開講座でどのようなタイプの講座を取り上げたらよいと思われますか。取り上げたらよいと思われるものを次のうちから選んでください。（2つ以内）

1. 専門的な学問の内容をわかりやすく解説するような講座（教養講座）
2. 特定の主題に対して色々な専門分野から総合的にアプローチするような講座（総合講座）
3. 専門的な学問を深く学習するために必要な基礎の修得を目的とした講座（専門基礎講座）
4. 専門的な学問の講座（専門講座）
5. 会話や文章による意志疎通のための実用的な語学力を養う講座（語学講座）
6. 実技指導を主とした趣味あるいはスポーツの講座（趣味・スポーツ講座）

問20 前出の表「放送利用の大学公開講座実施大学及び講座名」にありますように放送公開講座は全国の他の大学でも実施されていますが、機会があればこれらの放送公開講座番組を視聴してみたいと思いますか。

1. 視聴してみたい
2. どちらともいえない
3. 視聴したいとは思わない

問21 今後、放送利用の大学公開講座でどのようなテーマ領域を取り上げたらよいと思われますか。具体的なテーマをお持ちでしたら、回答用紙の自由記述欄Lに1番取り上げたらよいと思われるものをお書きください。

問22 放送利用の大学公開講座について、お気付きの点がありましたら回答用紙の自由記述欄Mに何でも御自由にお書きください。

平成元年度放送利用の大学公開講座アンケート（各大学共通分）回答用紙

※この欄は、大学側で使用しますので

記入する必要はありません。

01

02

03

04

05

06

【番号・数字記入欄】

問1

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9

問10

問11

(a)

回

(b)

問12

(a)

(b)

回

(c)

問13

(a)

(b)

(c)

(d)

問14

(a)

回

(b)

問15

問16

問17

問18

問19

問20

【自由記述欄】

A（問3のその他の具体的回答）

[]

B（問4で「8. 学生」と回答された留学生の方の国籍）

[]

C（問4のその他の具体的回答）

[]

D（問5のその他の具体的回答）

[]

E（問6のその他の具体的回答）

[]

F（問10のその他の具体的回答）

[]

G（問11のb）のその他の具体的回答）

[]

H（問12のc）のその他の具体的回答）

[]

I（問14のb）のその他の具体的回答）

[]

J（問17のその他の具体的回答）

[]

K（問18のその他の具体的な組合せ）

[]

L（問21の具体的なテーマ）

[]

M（問22の自由記述欄）

[]

(大学側担当者の方へコード記入のお願い)

放送利用の大学公開講座に関するアンケート調査(各大学共通分)の実施につきましては、毎年度御協力いただき誠にありがとうございます。

本年度のアンケート調査につきましては、別添のとおり実施したく、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、大学側記入欄のコードボックスにつきましては以下の要領で御記入くださるようお願いいたします。

(コード記入要領)

① 大学側記入欄のコードボックスは、回答用紙の左上部にあります。

コード表の各項目から該当するコードを選び、コードボックスに記入してください。なお、回答用紙印刷時に、併せてコードを印刷されても差し支えありません。

② コードボックスの01と02には、[大学コード]を記入してください。

③ コードボックスの03には、[メディアコード]を記入してください。

④ コードボックスの04と05には、[科目コード]を記入してください。

⑤ コードボックスの06は、四国地区以外の大学については「0」を、四国地区の大学については、受講生の申込先(登録)大学別に[登録大学コード]を記入してください。

(記入例1)

○ 北海道大学(ラジオ講座)の場合

「口承文芸の世界ー日本とヨーロッパの
昔話を中心にー」

01 02 03 04 05 06

0	1	2	0	2	0
---	---	---	---	---	---

(記入例2)

○ 四国地区(香川大学)で登録大学が
高知大学の場合

「四国の交通と経済 -21世紀への展望-」

01 02 03 04 05 06

0	9	1	1	7	4
---	---	---	---	---	---

コード表

〔大学コード〕

- | | | | |
|-------------------|----------|---------|-----------|
| 01 北海道大学 | 02 東北大学 | 03 新潟大学 | 04 金沢大学 |
| 05 信州大学 | 06 名古屋大学 | 07 大阪大学 | 08 広島大学 |
| 09 四国地区
(香川大学) | 10 熊本大学 | 11 琉球大学 | 12 高岡短期大学 |

〔メディアコード〕

- | | |
|---------|---------|
| 1 テレビ講座 | 2 ラジオ講座 |
|---------|---------|

〔科目コード〕

- 01 創造性：文化を築き科学を進める力
- 02 口承文芸の世界－日本とヨーロッパの昔話を中心に－
- 03 みちのくの建築－風土と景観－
- 04 老年期
- 05 雪国の住居と都市－風土の中で住環境を考える－
- 06 麗しき酒－人の歩みとともに－
- 07 日本海域の自然－日本海域のロマン－
- 08 石川の文学を読む－昭和をふりかえって－
- 09 信濃の民俗音楽
- 10 市民生活と法－急激な社会変動の諸例を通じて－
- 11 時間－人間とのかかわり
- 12 内と外－日本文化のアイデンティティを求めて
- 13 かしこい材料とシステム－産業科学の新しい芽－
- 14 国際化時代における法と政治
- 15 身近なバイオテクノロジー
- 16 歯の健康
- 17 四国の交通と経済－21世紀へのかけ橋－
- 18 色の科学と文化
- 19 近世の熊本
- 20 地域からの発想－文化・社会・自然・生活環境から地域を読む－
- 21 思春期の心とからだ－沖縄の医療と保健 その2－
- 22 みじかなコンピュータ

〔登録大学コード〕

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 愛媛大学 | 2 徳島大学 | 3 香川大学 | 4 高知大学 |
|--------|--------|--------|--------|

平成元年度放送利用の大学公開講座受講生に対するアンケート（各大学共通分）の実施方法の概要

大 学 名	アンケート対象者	アンケート配付時期	アンケート回収時期・方法	郵 送 回 収 の 場 合		アンケート回収の督促の有無	アンケートの構成
				返信用封筒	返 送 費 用		
北海道大学	受講生全員	講座開催中(12/26)に郵送配付	講座終了後(1/31)郵送回収	用意している	負担している	特に行っていない。	大学独自のアンケートを同時に行っている
東北大学	受講生全員	スクーリング開講式(9/30)に配付/欠席者には郵送	講座終了後 2/23以降順次郵送回収	用意している	負担している	特に行っていない。	大学独自のアンケートを同時に行っている
新潟大学	受講生全員	講座終了直後(12/25)郵送回収	最終スクーリング時(1/21)に回収 欠席者については、郵送回収	用意している	負担している	郵便で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
金沢大学	受講生全員	最終スクーリング時に配付 欠席者には郵送にて配付	最終スクーリング終了時に回収 欠席者については、郵送にて回収	用意している	負担している	郵便で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
信州大学	受講生全員	最終スクーリング時(1/20)に配付 欠席者には郵送配付	2/28締切で郵送回収	用意している	負担している	電話で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
名古屋大学	受講生全員	講座終了直前に郵送配付	講座終了後約1ヶ月間、郵送回収	用意している	負担している	特に行っていない	大学独自のアンケートを同時に行っている
大阪大学	受講生全員	講座終了直前に郵送配付	1/末まで郵送受付・スクーリングでは2回目まで受付	用意している	負担している	電話で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
広島大学	受講生全員	1/19郵送配付	講座終了後(2/15)郵送にて回収	用意している	負担している	郵便で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
香川大学	受講生全員	スクーリング時(1回、2回)に配付 欠席者には郵送配付	最終スクーリング時に回収 欠席者については郵送回収(2/6迄)	用意している	負担している	特に行っていない	大学独自のアンケート(四国地区アンケート)を同時に行っている
熊本大学	受講生全員	講座終了直後に郵送にて配付	2/末まで郵送にて受付	用意している	負担している	特に行っていない	大学独自のアンケートを同時に行っている
琉球大学	受講生全員	講座終了後(1/10)郵送配付	講座終了後より最終スクーリング前回収 欠席者については郵送回収	用意している	負担している	郵便で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている
高岡短期大学	受講生全員	第3回スクーリングに配付 欠席者には郵送配付	12/ 中旬までに郵送受付	用意している	負担している	団体加入者のみ電話で催促	大学独自のアンケートを同時に行っている